

HP Systems Insight Manager 5.1内のHP BladeSystem Integrated Manager



製品番号 : 381270-198

2007年5月, 8 版

©Copyright 2004-2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

目次

ご注意	4
保証	4
制限つき権利の一覧	4
著作権表示	4
商標表示	4
リビジョン履歴	5
概要	6
HP BladeSystem Integrated Manager 3.0の新機能	6
HP BladeSystemページ	6
ツリー ビュー ページでの操作	7
ツリー ビューの展開	8
ツリー ビューでの選択	9
ツリー ビューのステータス	9
利用可能なドリルダウン	9
収集の選択状態	9
ツリー ビューのボタン	10
アイコン ビュー ページでの操作	11
.....	11
テーブル ビュー ページでの操作	12
システム ビューの列	13
システム リストのボタン	17
ピクチャ ビュー ページでの操作	18
詳細表示	19
ビューのカスタマイズ	23
ラックおよびエンクロージャ	24
概要	24
ラックおよびエンクロージャ収集	24
ラックの表示	25
エンクロージャの表示	26
エンクロージャの表示	31
ラックの作成	31
ラックの編集	33
Onboard Administrator設定の保存	34
Onboard Administrator設定の復元	34
設定スクリプトの削除	34
p-Classエンクロージャの表示	35
e-Classエンクロージャの表示	36
c-Classエンクロージャの表示	37
システム タブでの操作	39
システム リストのボタン	41
収集の保存	42
ブレード システムの削除	42
イベント タブでの操作	43
フィルタ条件	44
イベント ステータスの凡例	44
イベントの詳細	45
イベント収集の列	45
選択	45
状態	45
深刻度	46
イベント タイプ	46

システム名	46
イベント時間	46
担当者	46
コメント	46
システム タイプ	46
ラック名	47
エンクロージャ名	47
イベント管理のボタン	47
システム ページ	49
システム タブでの操作	49
システム ステータス	50
詳細情報	51
識別	51
システム名が「orphan_nnn」になる理由	52
製品説明	52
HP Insight Power Manager	53
連絡先情報	53
サポート資格情報	53
資産情報	54
管理プロセッサ	54
ホスト サーバ	54
パートナー デバイス	54
関連情報	54
役割	54
ツール&リンク タブでの操作	55
システム マネジメント ページ	55
HPシステムWebアプリケーション ページ	55
HP Systems Insight Managerページ	55
iLOのリンク	56
イベント タブでの操作	57
フィルタ条件	57
イベント ステータスの凡例	58
イベントの詳細	58
イベント収集の列	58
選択	59
状態	59
深刻度	59
イベント タイプ	59
システム名	59
イベント時間	59
担当者	60
コメント	60
システム タイプ	60
ラック名	60
エンクロージャ名	60
イベント管理のボタン	60
[パフォーマンス/利用率]タブでの操作	61
ポート マッピング/メザニン カード タブでの操作	62
Essentialsタブでの操作	63
Onboard Administratorリンク	64
用語集	65
索引	70

ご注意

本書で取り扱っているコンピュータソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett-Packard Companyから使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211および12.212に従って、商業用コンピュータソフトウェア、コンピュータソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ（Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items）は、ベンダ標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

保証

HP製品に適用される特定保証条項の複写、および交換部品は、最寄の販売保守事務所から入手できます。

制限つき権利の一覧

米国政府による使用、複製、開示は、DOD機関用のDFARS 252.227-7013に記述されているRights in Technical Data and Computer Software条項のサブパラグラフ (c) (1) (ii)、およびその他の機関用のFAR 52.227-19に記述されているCommercial Computer Software Restricted Rights条項のサブパラグラフ (c) (1) と (c) (2) に規定されている制限を受けます。

HEWLETT-PACKARD COMPANY 3000 Hanover Street Palo Alto, California 94304 U.S.A.

このパックで提供される、この文書とすべての支援ソフトウェアメディアの使用は、この製品のみに制限されます。プログラムのコピーは、セキュリティとバックアップのみを目的として作成できます。現在の形式で、または変更してプログラムを再販売することは、明示的に禁止されています。

著作権表示

© Copyright 2004-2007 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標表示

すべてのHP 9000コンピュータのHP-UX Release 10.20以上とHP-UX Release 11.00以上（32ビット設定と64ビット設定の両方）は、Open Group UNIX 95ブランド製品です。

Javaは、Sun Microsystems, Inc.の米国における商標です。

Linuxは、Linus Torvalds氏の米国における登録商標です。

Microsoft、Windows、およびWindows NTは、米国におけるMicrosoft Corporationの登録商標です。

UNIXは、The Open Groupの登録商標です。

リビジョン履歴

改訂履歴

改訂 Version 3.0	2007年5月
MPN: 381270-198。バージョン3.0は、新しい機能を追加しました。	
改訂 バージョン2.4	2007年3月
MPN: 381270-197。バージョン2.4は、新しい機能を追加しました。	
改訂 バージョン2.3	2007年1月
製品番号: 381270-196。バージョン2.3は、新しい機能を追加しました。	
改訂 バージョン2.2	2006年9月
MPN: 381270-195。バージョン2.2は、新しい機能を追加しました。	
改訂 バージョン2.1	2006年5月
MPN: 381270-194。バージョン2.1は、新しい機能を追加しました。	
改訂 バージョン1.3	2005年7月

概要

HP BladeSystem Integrated Managerは、HP SIMからブレードシステムを管理することができるHP Systems Insight Manager (HP SIM) のプラグインです。HP BladeSystem Integrated Managerは、ブレード コンピュータ システム、データおよびストレージ ネットワークへの統合接続、ならびに共有電源サブシステムで構成されます。HP BladeSystem Integrated Managerを使用すると、ご使用のHPブレード環境（サーバブレード/デスクトップ、エンクロージャ インフラストラクチャ、ラック、統合スイッチなど）を階層型ツリービューによって素早く操作することができます。これにより、個々のブレードシステムまたはブレードシステム グループを簡単に設定し、配備し、管理することができます。

[HP BladeSystem]ページにアクセスするには、HP Systems Insight Managerのメニュー バーで、[ツール]>[内蔵コンソール]>[HP BladeSystem]の順に選択するか、[システムおよびイベント収集]パネルで、システム\共有\タイプ別システム\HP BladeSystemを選択してください。

HP BladeSystem Integrated Manager 3.0の新機能

- c-class c3000エンクロージャのサポートを追加しました。
- HP ProLiant BL680cサーバおよびHP ProLiant xw460cワークステーション ブレードのサポートを追加しました。
- ラック ビューにラックの属性が表示されるようにしました。以前は、ラックの属性はラック ビューから表示されませんでした。
- VMWare GSX、Microsoft Virtual Server、およびHP Virtual Machines for HP-UXをホストしているブレードの仮想マシン環境とVMゲスト数が表示されるようにツールチップに詳細を追加しました。

関連手順

- HP BladeSystemページ
- p-Classエンクロージャの表示
- c-Classエンクロージャの表示

関連項目

- ツリー ビュー ページでの操作
- テーブル ビュー ページでの操作
- アイコン ビュー ページでの操作
- ピクチャ ビュー ページでの操作

HP BladeSystemページ

[HP BladeSystem]ページは、デフォルトではツリー ビュー表示です。

- p-Classコンポーネント用のすべてのp-Classエンクロージャには、p-Classブレード、スイッチ、エンクロージャ、およびラックが含まれます。
- 統合クライアント インフラストラクチャ (CCI) ブレードPC、e-Classブレード、およびエンクロージャ用のすべてのe-Classエンクロージャ

- c-Classコンポーネント用のすべてのc-Classエンクロージャには、c-Classブレード、スイッチ、c-Classエンクロージャ、Onboard Administratorが含まれます。

1つまたは複数のコンポーネントを選択することができます。すべてのHP BladeSystemコンポーネントを選択するには、["HP BladeSystem"自体を選択]を選択してください。

[HP BladeSystem]ページは、以下の表示方法を使用することができます。

- ツリー ビュー
- アイコン ビュー
- テーブル ビュー

関連手順

- p-Classエンクロージャの表示
- e-Classエンクロージャの表示
- c-Classエンクロージャの表示
- Onboard Administratorリンク

関連項目

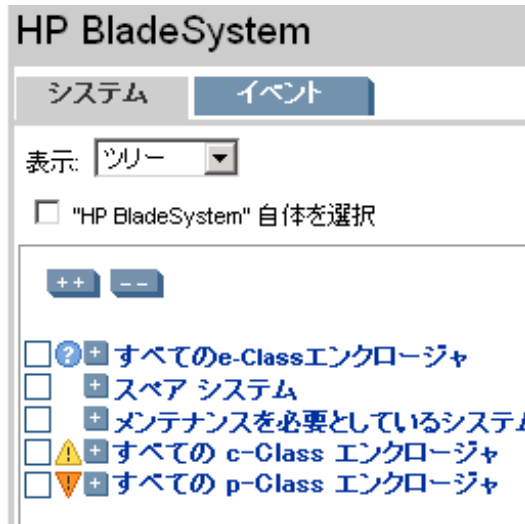
- ツリー ビュー ページでの操作
- テーブル ビュー ページでの操作
- アイコン ビュー ページでの操作
- ピクチャ ビュー ページでの操作

ツリー ビュー ページでの操作



ツリー ビューは、ブレード コンポーネントの実際の物理的階層構造を示すもので自動的に生成されます。たとえば、ラック内のエンクロージャ内部のブレードなどで、コンポーネントの収集を作成して利用するのに適しています。

[システムおよびイベント収集]パネル、システムテーブルビューページ、またはイベントテーブル ビュー ページで収集を選択すると、作業領域にツリー ビューが表示されます。ツリー ビューは、最初は折りたたまれています。システムは、複数の収集に存在する場合がありますので、複数の位置に表示されることがあります。ユーザは、参照権限があるシステムだけを表示できます。このため、ツリーに含まれる特定のシステムの参照権限がないと、そのブランチは表示されません。ツリー ビューでは、以下のセクションを使用することができます。

1. ツリー ビューの展開
2. ツリー ビューのステータス
3. ツリー ビューのボタン



ツリー ビューの展開

ブランチ ノードは、切り替え展開アイコンをクリックすると展開することができます。ただし、システム名は、展開コントロールではなく、ドリルダウンになります。ブランチが折り畳まれていると、アイコンは  のように表示されます。クリックすると、ブランチが展開され、子システムが表示され、アイコンは  に変わります。アイコンをもう一度クリックすると、ブランチが折り畳まれて、アイコンが元に戻ります。

注:




展開した状態はそのページセッションのときだけになります。ページを更新したり、別のページから戻ってきた場合は、元のツリー状態で表示されます。これは、新しく検出されたすべてのシステムをビューに追加するためです。


注:



ツリーブランチの展開は、[システムおよびイベント収集]パネルと作業領域とは異なります。[システムおよびイベント収集]パネルでは、アイコンまたはブランチ ラベルをクリックするとブランチを展開できます。作業領域では、システム名をクリックするとドリルダウンの機能になるので、アイコンのクリックのみがブランチを展開できます。

ページングのメカニズムはブランチで提供されています。ブランチが展開されている場合、最初の100件のシステムが表示されます。さらにシステムを表示するには、[次の.../...]をクリックします。このリンクをクリックすると残りのシステムを最大100件表示します。次のページにシステムが1件のみしかない場合、[次へ]リンクの代わりにそのシステムがページに追加されます。

各ツリー ビューの上部には、2つの展開ボタンがあります。ツリーのすべての項目を展開するには、 をクリックします。ツリーのすべてのブランチを第1レベルのブランチに折り畳む

には、をクリックします。システムの数が多すぎて、すべてのブランチを展開したページにロードできない場合は、ツリーに含まれるシステムが多すぎるために機能を実行できないことを示すポップアップメッセージが表示されます。

ツリー ビューでの選択

次のチェック アイコンを使用すると、ツリー ビューの選択コントロールが順番に4つの状態に変化します。



最初の初期状態です。何も選択されていません。



2番目の状態です。コンテナとその内容の両方が選択されています。内容がまだ展開されていない場合は、次の下位レベルが展開され、選択されていることが示されます。



3番目の状態です。コンテナの内容すべてが再起的に選択されています。下位レベルが展開されていない場合は、内容が展開され、選択内容が表示されます。次の階層だけが展開されます。



4番目の状態です。コンテナだけが選択されています。

ツリー ビューのステータス

ツリー ビューは、各システムのステータス データを表示します。ステータス アイコンは、ツリー ビューの左側の選択チェック ボックスの横にあります。システムのステータスが「不明」の場合は、ステータスアイコンが表示されません。システムがコンテナの場合、ステータスはコンテナ名の左に、コンテナに含まれるシステムの最も重要なステータスとして表示されます（コンテナステータスを含みます）。コンテナ自体のステータスは、システム名の右に、システム タイプ ラベルとともに表示されます。

利用可能なドリルダウン

ツリー ビューには、システム名のハイパーリンクとステータス アイコンのドリルダウンが含まれています。システム名をクリックすると、そのシステムの[システム ページ]が表示されます。ステータス アイコンは、コンテナの左にステータス アイコンがこない限り、そのシステムのステータスURLまでドリルダウンします。ブランチのロールアップステータスをクリックすると、ロールアップステータスが対応するブランチ内のすべてのシステムのテーブルビューをロードします。従って、ロールアップステータスの深刻度の原因となるすべてのシステムで提供されます。

収集の選択状態

ツリー ビューでは、収集とその収集のメンバを同時に選択することはできません。収集が選択されると、メンバーが表示され、それらの選択ボックスは無効になります。収集の選択状態は、次のとおりです。



何も選択されていません。



収集自体が選択され、収集の内容は無効になります。



収集のメンバーが選択されます。収集自体は選択されていません。

さらに、ツリーの上部になるチェックボックスを使用すると、表示されている収集を選択することができます。チェックボックスを選択すると、収集の下すべてのチェックボックスの選択が解除され、無効になります。チェックボックスを選択解除すると、収集の下にあるチェックボックスが選択可能になります。

ツリー ビューのボタン

ツリー ビュー ページの下部には、3つのボタンがあります。完全な設定権があるユーザだけが、このボタンを使用できます。

- [名前をつけて収集を保存]。選択されている1つのシステムまたはシステムのグループがあり、選択内容を新しい名前で保存する場合に、このボタンを使用します。変更内容は、ユーザごとに保存されます。
- [削除]。このボタンは、1つ以上のシステムをデータベースから削除する場合に使用します。削除するシステムを選択し、[削除]をクリックします。ダイアログ ボックスが表示されます。削除を続けるには、[OK]をクリックします。操作をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。ツリー ビューが更新されます。

注:



ツリービューからは、システムのみを削除できます。収集を選択すると、[削除]ボタンは無効になります。収集は、[収集のカスタマイズ]ページから削除してください。

注:



VMホストが削除されても、Virtual Machine Management Pack コンソールからアクセスすることができて、VMホスト上で実行することができる操作は、HP Systems Insight Manager (HP SIM) システムの削除によって影響されません。Virtual Machine Management Pack コンソールは、HP SIM ステータスを表示し続けます。

注:



["収集名"収集の選択]を確認して収集を選択する場合は、[削除]ボタンは無効になります。収集の削除は、[収集のカスタマイズ]ページから行ってください。

- [印刷]。印刷可能バージョンのツリーを表示するには、[印刷]をクリックします。[ファイル]->[印刷]をクリックして、ブラウザからツリーを印刷します。

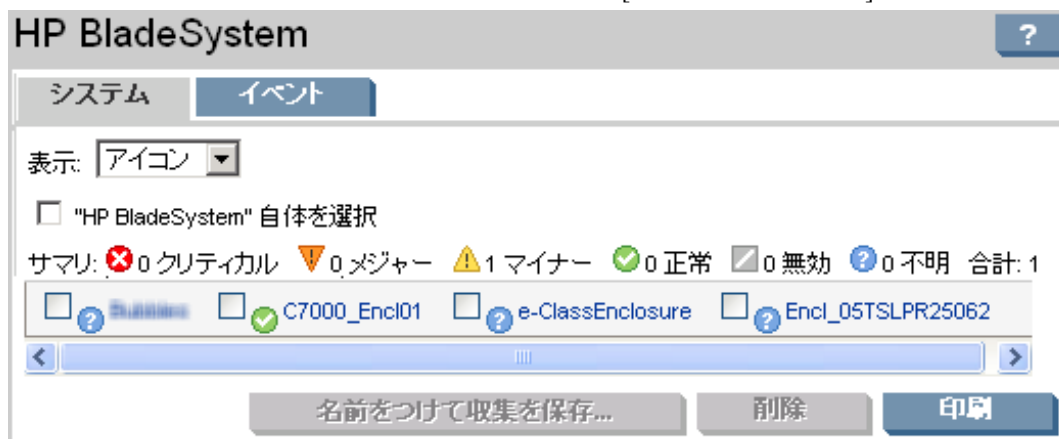
[印刷]は、権限に関係なく利用可能ですが、他のオプションは適切な権限を持っている場合にのみ有効になります。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- アイコン ビュー ページでの操作
- テーブル ビュー ページでの操作

アイコン ビュー ページでの操作

アイコン ビューでは、検出されるすべてのシステムのシステム名が、各システムのシステムヘルスステータスとともに示されます。凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。システムを選択するには、システム名の横にあるチェック ボックスを選択します。1つ以上のシステムを選択するか、すべての収集を選択するには、["収集名"自身の選択]を選択します。



HP Systems Insight Managerでは、次のヘルス ステータス タイプのうちいずれかがシステムに含まれます。

❌ クリティカル。 HP Systems Insight Managerがシステムとやり取りできなくなっています。システムは、以前に検出されていましたが、現在はpingできません。システムが停止しているか、電源が切れているか、ネットワークの問題のためにネットワーク経由でアクセスできなくなっています。

⚠ メジャー。 このシステムに、ただちに処置が必要な重度の問題があります。HP Insightマネジメントエージェントを実行しているシステムの場合は、一部のコンポーネントで障害が発生し

ています。システムが正常に動作しておらず、データが消失している可能性があります。Insight マネージャ (WIN32) では、このステータスは、「障害」に分類されます。

⚠ **マイナー。** このシステムに、軽度の問題があります。HP Insight マネジメント エージェントを実行しているシステムの場合、一部のコンポーネントが故障していますが、システムはまだ機能しています。Insight マネージャ (WIN32) では、このステータスは、「劣化」に分類されます。

⚠ **警告。** システムに潜在的な問題があるか、問題が発生する可能性のある状態になっています。

✅ **正常。** システムは正常に動作しています。システムにアクセスできます。

❌ **無効。** システムは保留状態になっています。これにより、システムをステータス ポーリング、識別、データ収集、および自動イベント処理から除外することができます。[自動検出] ページで、[Integrated Lights Out 管理プロセッサを識別した場合、自動的にサーバーブレードを検出] を選択した場合、Integrated Lights Out を通じて検出された新規サーバ (たとえば、オペレーティングシステムも IP アドレスも分からない) は、システムが IP アドレスまたはオペレーティングシステムとともに検出されるまでは、無効と表示されます。

❓ **不明。** HP Systems Insight Manager が、SNMP または DMI を使用して、システムに関する管理情報を取得できません。管理構成情報は取得できませんが、システムに対して ping を実行できます。コミュニティ名またはセキュリティの設定が間違っているか、システムに関連付けられていない IP アドレスの可能性があります。

ステータスなし。システムの検出後、システムに対してポーリング タスクを実行していません。

注:



HP Insight マネジメント エージェント for Windows では、「正常」、「劣化」、「障害」、「アクセス不能」という用語を継続して使用しています。[マイナー] ステータスと [メジャー] ステータスだけが、このエージェントを実行するシステムに関連付けられています。

ℹ **情報。** システムが暫定的な状態になっているか、エラーのない状態になっている可能性があります。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystem ページ
- ツリー ビュー ページでの操作
- テーブル ビュー ページでの操作

テーブル ビュー ページでの操作

テーブルビューでは、システム名およびタイプとソート情報が列に示されます。凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。テーブル ビューについて詳しくは、http://www.hp.com/jp/proliantesentials_manual にある『HP Systems Insight Manager テクニカル リファレンス ガイド』を参照してください。

HP BladeSystem

表示: テーブル

☐ "すべてのシステム" 自体を選択

サマリ: ❌ 0 クリティカル ⚠ 1 メジャー ⚠ 2 マイナー ✅ 6 正常 🔍 9 無効 ❓ 1 不明 合計: 19

<input type="checkbox"/>	HS	MP	SW	VPM	システム名	↑	システム タイプ	システム アドレス
<input type="checkbox"/>	✅				16.100.227.80 in-0001 NewEreol		管理プロセッサ	16.100.227.80
<input type="checkbox"/>	⚠	⚠	❓	❓	server-01 in-0001 NewEreol		サーバ	16.100.225.32
<input type="checkbox"/>	⚠	⚠	❓	❓	server-02 in-0001 NewEreol		サーバ	16.100.227.67
<input type="checkbox"/>	❓				CDP44EreolSecure_0001 20120408		エンクロージャ	
<input type="checkbox"/>	✅		❓		switch-01 in-0001 NewEreol		スイッチ	16.100.226.13
<input type="checkbox"/>	⚠	⚠	❓	❓	server-03 in-0001 NewEreol		サーバ	16.100.225.179

システム ビューの列

列を並び替えるには、列見出しをクリックして昇順か降順に並び替えます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。[アイコン] ビューを選択していると、列は使用できません。以下を参照してください。

- 選択
- ヘルス ステータス
- 管理プロセッサ
- ソフトウェア ステータス
- HP ProLiant Essentials Vulnerability and Patch Management Pack
- システム名
- システム アドレス
- 製品名
- オペレーティング システム名

選択

システムを選択するには、この列のチェックボックスをオンにします。複数のシステムを選択できます。このオプションは、テーブル ビュー、ツリー ビュー、およびアイコン ビューで利用できます。表示する システムをすべて選択または選択解除するには、列見出しのチェックボックスを選択します。すべてのHP BladeSystemコンポーネントを選択するには、["HP BladeSystem"自体を選択]チェック ボックスを選択してください。

システム名

この列には、検出されたすべてのシステムの実システム名が含まれます。システムは、単一システムまたはコンテナ内のシステムとして表示されます。カーソルをシステム名の上に移動させると、システムの完全なドメイン ネーム サービス (DNS) 名が表示されます。これは、同じシステム名を共有する複数のシステムを区別するために役立ちます。システム名リンクをクリックすると、[システム ページ]が表示されます。コンテナ(ラックまたはエンクロージャ)であるシステムをクリックすると、そのオブジェクトのピクチャー ビューが表示されます。

[システム名]列には、システムと関連デバイスが表示されます。以下に、HP Systems Insight Managerで利用できる関係を示します。

- 管理プロセッサとサーバ
- サーバとエンクロージャ
- 管理プロセッサとエンクロージャ
- エンクロージャとラック
- スイッチとエンクロージャ
- システムとクラスタ

以下のシステム タイプはコンテナです。

- ラック
- エンクロージャ
- クラスタ

[システム名]列でエンクロージャ名をクリックすると、そのエンクロージャ内で検出されたすべてのシステムのリストが表示されます。ラックとエンクロージャの両方のステータスは、常に「不明」です。

ブレードエンクロージャ内のスイッチが検出かつ識別されると、スイッチ、およびスイッチが設置されているエンクロージャの間で関係が確立します。この関係は、エンクロージャ

「enclosure_name」で「switch_name」を表示すると、システム テーブル ビュー ページの[システム名]列に表示されます。[システムタイプ]列には、システムタイプとしてスイッチが表示されます。HP Systems Insight ManagerがHP ProLiant p-Classサーバブレードを適切に識別し、管理するには、関連とイベント相互関係を適切に機能させるために、HP Insightマネジメント エージェント 5.50以降がブレードにインストールされている必要があります。

サーバブレードが同じラックまたはエンクロージャ内の別のシステムを通じて識別されると、iLO、およびサーバブレードが設置されているエンクロージャとの間で関係が確立します。この関係は、エンクロージャ「enclosure_name」で先頭に「Server_」を追加したシステム シリアル番号を表示すると、システムテーブルビューページの[システム名]列に表示されます。たとえば、「Server_C349KJP5D876」：エンクロージャ「Encl4」のようになります。このシステムについては、システム アドレス、製品名、およびオペレーティング システムは表示されません。

HP Serviceguard Managerを起動してHP Serviceguardクラスタに含まれるサーバを管理する場合は、以下の条件が満たされていることを確認してください。

- HP Serviceguard Managerがインストールされ、HP Systems Insight Managerに登録されていること
- 選択されたシステムが、HP Serviceguardクラスタに含まれるHP-UXサーバまたはLinuxサーバであること

ヘルス ステータス

ヘルス ステータスの列（「HS」で示される）には、全体的なシステム ステータスが表示されます。デフォルトのハードウェア ステータス ポーリング タスクによって判断されます。この列のステータス アイコンをクリックすると[HPマネジメント エージェント]または[HP Instant Tootools for Servers]ページが表示されます。システムにWebエージェントまたはInstant Tootoolsがインストールされていない場合は、[システム ページ]が表示されます。

表示されるコンテナ システム (Serviceguard、コンプレックスなど) のハードウェア ステータスは、コンテナ自体の実際のハードウェア ステータスです。クラスタについては、表示されるステータスは、ping ステータスです。

管理プロセッサ

管理プロセッサの列 (「MP」で示される) には、システムに内蔵 Lights-Out ボード (iLO) が取り付けられている場合、管理プロセッサのステータスアイコンが表示されます。そうでない場合は、情報アイコンが表示されます。ステータスアイコンをクリックすると、その管理プロセッサの[システム ページ]が表示されます。

ソフトウェア ステータス

ソフトウェア ステータスの列 (「SW」で示される) は、サーバ専用で、ソフトウェア更新の状況とその深刻度が表示されます。

ステータスが不明の場合にステータスがクリックされると、HP Systems Insight Manager には、[バージョン コントロール]ページが表示されます。

HPバージョン コントロール エージェントがシステムにインストールされている場合、そのシステムのソフトウェア ステータスアイコンをクリックすると、[HPバージョン コントロール エージェントソフトウェアインベントリ]ページが表示されます。VCAがシステムにインストールされていない場合、カーソルをステータスアイコンに重ねると、「vcエージェントが設定されていません」というメッセージが表示されます。

HP ProLiant Essentials Performance Management Pack

HP ProLiant Essentials Performance Management Pack (PMP) ステータスの列 (「PF」で示される) には、システムで監視されているすべてのサブシステムの全体的なパフォーマンスステータスが表示されます。この列のステータスアイコンをクリックすると、選択したシステムの[HP ProLiant Essentials Performance Management Pack]ページが表示され、さらに詳細なパフォーマンス情報が表示されます。

注:



PMPがHP Systems Insight Managerシステムにインストールされていない場合、システム テーブル ビュー ページにこの列は表示されません。

PMPがサーバを監視していない場合、ステータスは「不明」です。ステータスリンクをクリックすると、PMPは、そのシステムを監視するためのライセンスの購入に関する情報のページが表示されるか、そのシステムではPMP監視がサポートされていないというメッセージが表示されます。

注:



[PF]列では、[すべてのサーバ]リストから、すべてのシステムに関するステータスが表示されます。ステータスが何らかの理由で判定できなかった場合、ステータスは「不明」に設定されます。

HP ProLiant Essentials Vulnerability and Patch Management Pack

VPM脆弱性情報は、HP Systems Insight Managerコンソールの[VPM]列に表示されます。最初は、この列に示されるアイコンによって、特定の行のターゲットシステムに関するVPM適格情報が表示されます。ターゲットサーバにライセンスが付与され、脆弱性スキャンが実行されると、列には、ターゲットシステムで最後に実行された脆弱性スキャンの統合ステータスが表示されます（パッチステータスは列には表示されません）。アイコンをクリックすると、VPMに関するシステムステータスの詳細情報が表示されます。正常、マイナー、またはメジャーアイコンをクリックすると、最後に実行されたシステムのスキャンの結果にアクセスできる新しい情報ページが開きます。このページからは、新しいスキャンを実行することもできます。システムの不明アイコンをクリックすると、VPMに関する可能性のある理由を示す説明ページが表示されます。

注:



VPMがHP Systems Insight Managerシステムにインストールされていない場合、システムテーブルビューページの[VPM]列に情報アイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、VPMのインストール方法とライセンスの購入方法に関する情報が表示されます。

システムにライセンスが付与されていないか、まだシステムがVPMによってスキャンされていない場合は、情報アイコンが[VPM]列に表示されます。このアイコンをクリックすると、ターゲットシステムのライセンス取得の詳細情報と、HP Systems Insight Managerライセンスマネージャへのリンクが表示されるか、または脆弱性スキャンに関する情報と、ターゲットシステムでパッチ脆弱性をスキャンするためのリンクが表示されます。

HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack

HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack（Virtual Machine Management Pack）ステータス列（「VMステータス」で示される）には、すべての仮想マシンホストおよび仮想マシンゲストの全体的なステータスが表示されます。[VMステータス]列のステータスアイコンをクリックすると、選択されているシステムの[HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Pack]ページが表示され、仮想マシンのステータスに関する詳しい情報が表示されます。

注:



Virtual Machine Management PackがHP Systems Insight Managerシステムにインストールされていない場合、[すべてのシステム]システムテーブルビューページにこの列は表示されません。同様に、HP ProLiant Essentials Virtual Machine Management Packがインストールされていない場合、HP Systems Insight Managerコンソールで[VMステータス]は更新されなくなります。

タイプがサーバであり、サブタイプが仮想マシンホストまたは仮想マシンゲストであるシステムの場合、HP Systems Insight Managerでは、[VMステータス]列に適切なステータスアイコンを埋め込みます。

システムタイプ

この列には、サーバやデスクトップなど、システムタイプが表示されます。システムタイプが「非管理」の場合、簡易ネットワーク管理プロトコル（SNMP）、Webベースエンタープラ

イズ管理（WBEM）、デスクトップ管理インタフェース（DMI）、SSH（Secure Shell）などの管理プロトコルがHP Systems Insight Managerで検知されなかったことを意味します。システムタイプが「不明」の場合、管理プロトコルは検知されたが、HP Systems Insight Managerの識別ルールには一致しないことを意味します。

注:



非管理対象システムは、システムと通信するために証明書が適切に設定されていないことを示す場合があります。HP Insightマネジメント エージェントがインストールされていることが分かっている場合は、使用されている証明書を確認してください。

オペレーティング システム名

オペレーティング システム列（「OS名」で示される）には、システム上のオペレーティング システムが表示されます。Serviceguard クラスタでは、この列には、クラスタがHP-UXタイプの場合は[HP Serviceguard]が表示され、クラスタがLinuxタイプの場合は[HP Serviceguard for Linux]が表示されます。仮想クラスタ システム列の[OS名]列の下に[HP Serviceguard]および[HP Serviceguard for Linux]は、実際のオペレーティング システム名およびタイプを表していません。このフィールドは、クラスタを構成しているサーバが、それぞれ、HP-UXタイプかLinuxタイプかを示すために使用されます。

システム アドレス

この列は、HP Systems Insight Managerがシステムとの通信に使用するシステムのプライマリ IP アドレスを表示します。HP Serviceguard クラスタなどを含め、すべてのシステムがIPアドレスを持っているわけではありません。

製品名

この列には、システムの製品名が表示されます。

システム リストのボタン

システム テーブル ビュー ページの下部にある3つのボタンは、完全な設定権があるユーザだけが使用できます。ツールの使用時に個々のターゲットシステムを選択した場合、これらのボタンは使用できません。

- [名前をつけて収集を保存]。強調表示されている1つのシステムがあり、選択内容を新しい名前で作成する場合に、このボタンを使用します。変更内容は、ユーザごと、あるいは収集ごとに保存されます。
- [削除]。このボタンは、1つまたは複数のシステムをデータベースから削除するために使用します。削除するシステムを選択し、[削除]をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。削除を続けるには、[OK]をクリックします。操作をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。
- [印刷]。レポートが表示されたら、ブラウザのメニューから[ファイル]->[印刷]をクリックし、レポートを印刷します。

注:

以下の機能はHP Systems Insight Managerではサポートされていません。



- [印刷]ダイアログボックスでは、[印刷の向き]を[横]に変更することができません（この問題の回避方法については『HP Systems Insight Managerテクニカルリファレンス ガイド』の「印刷の問題」を参照してください）。
- 印刷ジョブの実行開始後に印刷をキャンセルすることはできません。ただし、オペレーティングシステムの印刷キューにアクセスし、印刷ジョブをキャンセルすることは可能です。
- ファイルに印刷できません。
- 選択されたシステムに関する情報が印刷できず、システムのリスト全体のみが印刷可能です。
- 印刷要求の発行直後にブラウザを閉じた場合、システム テーブル ビュー ページは印刷されません。

ユーザに適切な権限がない場合、ボタンは無効になります。ただし、[印刷]ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- アイコン ビュー ページでの操作
- ツリー ビュー ページでの操作

ピクチャ ビュー ページでの操作

[ピクチャ ビュー]ページは、すべてのラック、すべてのc-Classエンクロージャ、すべてのe-Classエンクロージャ、およびすべてのp-Classエンクロージャの収集で検出されたすべてのラックおよびエンクロージャの統合された図を表示します。ピクチャ ビューにアクセスするには、[すべてのe-Classエンクロージャ]を選択します。デフォルトでピクチャ ビューにエンクロージャが表示されます。

注:



[HP BladeSystem]収集は、ピクチャ ビュー オプションがありません。



詳細表示

SNMPまたはHTTPをサポートするp-Class、e-Class、またはc-Classシステムの詳細を表示するには、システムの上にカーソルを移動して、ツールチップを表示させます。

注:



システムがSNMPまたはHTTPクエリをサポートしていない場合、[利用不可]と表示されます。

以下のツールチップが利用可能です。

- p-Classサーバ
- p-Classスイッチ
- c-Classサーバ
- c-Classスイッチ
- e-Classサーバ
- e-Classスイッチ
- ベアメタルブレード

p-Classサーバ

ピクチャツールチップは、サーバに関する以下の情報を表示します。

- ベイ
- 名前
- IPアドレス
- シリアル番号
- モデル
- オペレーティング システム
- システムROMバージョン
- Insight Managementバージョン
- マネジメント プロセッサIP
- マネジメント プロセッサ ファームウェア バージョン
- ブレードが仮想マシンをホストしている場合は、ツール チップに以下の情報が表示されます。

○ VMホスト環境

注：[VMホスト環境]の詳細は、以下のオペレーティングシステムを実行しているVirtual Machine Hostで表示されます。

- ☐ VMWare ESX
- ☐ VMWare GSX
- ☐ Microsoft Virtual Server (MSVS)
- ☐ HPVM for HP-UX

○ VMゲスト数

p-Classスイッチ

ピクチャ ツール チップは、スイッチに関する以下の情報を表示します。

- ベイ
- 名前
- IPアドレス
- シリアル番号
- モデル
- ファームウェア バージョン

c-Classサーバ

ピクチャ ツール チップは、c-Classサーバに関する以下の情報を表示します。

注:



メザニン システム情報は、c-Classサーバでの未表示されます。p-Classまたはe-Classシステムでは、メザニン スロット ラベルは表示されません。

- ベイ
- 名前
- IPアドレス
- シリアル番号
- モデル
- オペレーティング システム
- システムROMバージョン
- Insight Managementバージョン
- マネジメント プロセッサIP
- マネジメント プロセッサ ファームウェア バージョン
- メザニン スロットX

注：Xは、メザニン カードのスロット番号です。c-Classサーバにメザニン カードがない場合は、このオプションは表示されません。

- 関連デバイス

注：[関連デバイス]ツール チップは、c-Classブレードにストレージ デバイスが関連付けられている場合に表示されます。

このリリースより、HP ProLiant BL680cサーバもサポートされるようになりました。

c-Classスイッチ

ピクチャ ツール チップは、c-Classスイッチに関する以下の情報を表示します。

注:



c-Classツールチップは、[ファームウェア バージョン]を表示しません。その代わりに、[メディア タイプ]が表示されます。

- ベイ
- 名前
- IPアドレス
- シリアル番号
- モデル
- メディア タイプ

e-Classサーバ

ピクチャ ツール チップは、e-Classサーバに関する以下の情報を表示します。

注:



e-Classサーバおよびデスクトップツールチップは、以下の情報のみ表示します。

- ベイ
- 名前
- IPアドレス
- シリアル番号
- モデル
- オペレーティング システム

e-Classスイッチ

ピクチャ ツール チップは、e-Classスイッチに関する以下の情報を表示します。

- 名前
- IPアドレス
- シリアル番号
- モデル

ベア メタル ブレード

ピクチャ ツール チップは、ベア メタル ブレードに関する以下の情報を表示します。

注:



ベア メタル ブレード ツール チップは、以下の情報のみ表示します。 リストの項目に加えて他のすべての情報は、[利用不可]と表示されます。

注:



サーバが[Integrated Lights-Out管理プロセッサを識別した場合、自動的にサーバブレードを検出]を有効にすることで検出される場合、[マネジメントプロセッサバージョン]および[ROMバージョン]のみ表示されます。

- ベイ
- 名前
- シリアル番号
- モデル
- システムROMバージョン
- マネジメント プロセッサIP
- マネジメント プロセッサ ファームウェア

ビューのカスタマイズ

ピクチャビューの表示方法を変更することができます。[表示方法]ドロップダウンリストの下矢印をクリックして、[テーブル]、[アイコン]、または[ピクチャビュー]を選択します。ただし、ピクチャビューは、システム テーブル ビュー ページのラックまたはエンクロージャ名をクリックして、ラックまたはエンクロージャまでドリルダウンし、さらに表またはアイコンビューに戻っている場合にのみ利用可能です。ラックまたはエンクロージャにドリルダウンするには、ラックまたはエンクロージャに関連しているシステムのみに制限されます。これにより、他のビュータイプと切り替えることができます。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- アイコン ビュー ページでの操作
- ツリー ビュー ページでの操作

ラックおよびエンクロージャ

概要

ブレードサーバとは一般的に、電源、ファン、スイッチ、およびその他のコンポーネントを他のサーバブレードと共有するために、ラック マウント可能なエンクロージャに簡単に挿入できる、マイクロプロセッサ、メモリ、およびネットワーク接続を含む高密度なサーバシステムです。サーバブレードは、コスト効率が高さ、デプロイの高速性、および拡張に対する適応度において優れており、これまでのラック マウントやタワー型のサーバとは異なります。

ラックは、ラボ内のとおり実際の物理的なラックを現して、HP BladeSystem Integrated Managerで手動で作成することができます。詳しくは、エンクロージャの表示項を参照してください。エンクロージャは、1組のブレードサーバを収納する物理的なコンテナです。エンクロージャは、電源と信号を供給するバックプレーンと配線や温度センサ用のその他のハードウェアから構成される。CPUの電源やサーバの電源もホストします。ラックとエンクロージャはどちらもコンテナですが、ラックはエンクロージャのためのコンテナです。

- **e-Class** e-Class収集には、bc1000/bc1500およびbc2000/bc2500 PCブレード タイプ、および e-Class BL10eサーバブレードを含む20 PCブレードをホストする、統合されたクライアントインフラストラクチャブレードPCエンクロージャが含まれます。
- **p-Class** p-Classエンクロージャは、1セットのエンクロージャがハードウェア レベルでネットワークに接続されている場合、1つのラック全体を構成します。p-classエンクロージャは、ProLiant BL p-Classサーバおよびワークステーションタイプをホストします。
- **c-Class** c-Class収集は、アダプティブ コンピューティングを有効にし、Rapid Deploymentで最適化された、HP BladeSystem c7000/c3000エンクロージャ、HP ProLiant BL c-Classサーバブレード、ネットワーク インターコネクト コンポーネント、Onboard Administrator、および マネジメント ツールで構成されます。

重要:



HP BladeSystem Integrated Manager 2.3以前のバージョンからHP BladeSystem Integrated Manager 3.0にアップグレードする場合、すべてのp-Classラックまたはすべてのc-Classラックに関連するユーザ定義の収集は失われます。アップグレードした後、デバイスを提供している[すべてのラック]の収集に表示される、デフォルトのすべてのc-Classラックおよびすべてのp-Classラックの収集は、再認識されません。

ラックおよびエンクロージャ収集

HP Systems Insight Manager (HP SIM) は、サーバブレードおよびエンクロージャを検出および識別します。

エンクロージャで2つの特定の検索基準があります。

- ラック
- エンクロージャ

これらの基準を使用して検索を実行すると、選択したラックまたはエンクロージャに含まれるシステムのリストを返します。前の2つを除いたどの基準でも、それらのラックおよびエンクロージャ内のシステムではなく、ラックおよびエンクロージャ自体を返します。たとえば、ラック[Franklin 1]の[システム名]を検索すると、[Franklin 1]内のシステムではなく、システム[Franklin 1]を返します。

ラックおよびエンクロージャに関する2つのデフォルトの収集は、[システムタイプ]収集の下にリストされます。

- すべてのラック
- すべてのエンクロージャ

システム テーブル ビュー ページでは、ラック表示は2通りあります。

- Rack1のEncl1
- Rack1

[ピクチャー ビュー]ページは、ラックのハイパーリンクをクリックすると表示されます。

システムテーブルビューページで[システム名]列のエンクロージャ名をクリックすると、そのエンクロージャ内で検出されたすべてのシステムのリストが表示されます。ラックとエンクロージャの両方のステータスは、常に「不明」です。

サーバがエンクロージャまたはラックの一部である場合は、[ピクチャー ビュー]ページが表示されます。このページには、エンクロージャ内（利用可能な場合はラック内も含む）に検出されたシステムの図が表示されます。HPSIMにサインインして、カーソルを、ビューに表示されるコンポーネントの上にカーソルを重ねる際に、サーバが搭載されているサーバブレード名、スロット番号、エンクロージャなど特定のサーバに関する情報が表示されます。

関連手順

- e-Classエンクロージャの表示
- c-Classエンクロージャの表示
- p-Classエンクロージャの表示

関連項目

- システム タブでの操作
- イベント タブでの操作
- 概要
- HP BladeSystemページ
- ピクチャ ビュー ページでの操作
- ツリー ビュー ページでの操作

ラックの表示

作成したラックを表示するには、[システムおよびイベント収集]パネルから[すべてのラック]をクリックします。作成したすべてのラックが表示されます。詳細を表示するには、ラックを選択します。デフォルトでは、ラックのピクチャビューが表示されています。ラックのピクチャビューも仮想マシン（VM）を動作させているブレードを区別します。ラックの図の上にマウスを移動させると、その詳細が表示されます。さらに、実行しているVMの数も表示されます。

注:



HP BladeSystem Integrated Manager ツリーまたはピクチャ ビューに表示される c-Class デバイス（1つのエンクロージャ内のブレードおよびスイッチ）では、そのエンクロージャ内で少なくとも Onboard Administrator が1つ、デバイスの前または後に検出されるはずです。デバイスは HP SIM で検出されますが、Onboard Administrator が1つも検出されない場合は、HP BladeSystem Integrated Manager ツリーまたはピクチャ ビューには表示されません。

注:



デバイスを別のスロットに移動したり、デバイスを取り外したりするような c-Class エンクロージャ内の物理構成の変更は、Onboard Administrator の再認識が必要です。

[ラック ビュー] ページに次のタブが表示されます。

- システム タブでの操作項

注：[システム] タブは、[ラック ビュー] ページがアクセスされている場合、ピクチャ ビューで表示します。

- イベント タブでの操作項

関連手順

- p-Class エンクロージャの表示
- c-Class エンクロージャの表示
- e-Class エンクロージャの表示
- Onboard Administrator リンク

関連項目

- 概要
- HP BladeSystem ページ
- エンクロージャの表示
- ツリー ビュー ページでの操作
- テーブル ビュー ページでの操作
- アイコン ビュー ページでの操作
- ピクチャ ビュー ページでの操作

エンクロージャの表示

エンクロージャのピクチャ ビュー ページには、利用可能な場合、エンクロージャ内で検出されたシステムの図が含まれています。エンクロージャのピクチャ ビュー、テーブル ビュー、またはアイコン ビューと一緒にエンクロージャ名が表示されます。HP Systems Insight Manager (HPSIM) にサインインして、カーソルを、ビューに表示されるコンポーネントの上にカーソルを重ねているときに、サーバが搭載されているサーバブレード名、スロット番号、エンク

ロージャなど特定のサーバに関する情報が表示されます。また、サーバ名をクリックすると、そのサーバに関する情報が表示されます。[システム ページ]が表示されます。

以下のシステムは、ラックおよびエンクロージャのピクチャ ビューに表示されます。

- サーバ、およびワークステーションブレード
- インターコネクト モジュール
- 電源エンクロージャ

注： p-Classのみ表示されます。

- Onboard Administrator、ファン、および電源ユニット

注： c-Classのみ表示されます。

認識できないサーバやデスクトップおよび認識できないインターコネクト スイッチを持つスロットもエンクロージャのピクチャ ビューに表示されます。

以下のセクションは、ラックおよびエンクロージャのピクチャ ビューに表示されます。

- システム ステータス
 - ヘルス ステータス アイコン。システム ヘルス（重大、メジャー、マイナー、および正常）を現します。
- 識別
 - エンクロージャ名。エンクロージャの名前を表示します。次に示すエンクロージャの詳細を含む印刷可能な表を表示するには、[エンクロージャ詳細の印刷]をクリックします。
 - ☐ ベイ。
 - ☐ システム名
 - ☐ IPアドレス。
 - ☐ モデル。
 - ☐ ファームウェア バージョン。
 - ☐ 役割。

以下の詳細は、Onboard Administratorで表示されます。

- ベイ
- システム名
- IPアドレス
- モデル
- ファームウェア バージョン
- 役割

以下の詳細は、サーバで表示されます。

- ベイ
- システム名
- IPアドレス
- モデル
- マネジメントプロセッサIP
- マネジメントプロセッサ ファームウェア バージョン
- Insight Managementエージェント バージョン
- システムROMバージョン
- オペレーティング システム

- シリアル番号。エンクロージャのシリアル番号を表示します。
- UUID。システム上のエージェントまたはその他のコンポーネントからの固有IDです。
- ラック名。クリックするとピクチャ ビューにラックを表示します。
- [ユニットID (LED)]。ユニットIDがオンかオフかを確認します。
- Onboard Administrator - [Onboard Administrator]リンクをクリックすると、Onboard Administratorホーム ページを表示します。

注： [Onboard Administrator]リンクは、c-Classエンクロージャのみ表示されます。

- Virtual Connect Manager。Virtual Connect Manager (VCM) のIPアドレスを表示します。IPアドレスをクリックするとVCMシステムにアクセスできます。

注： このオプションは、仮想接続が使用可能な場合にのみ表示されます。

- [VCMドメイン名]。VCMのドメイン名を表示します。

- c-Classエンクロージャの場合

- 電源および温度セクション

- [電源リダndanシ]。電源リダndanシのステータスを表示します。[電源リダndanシ]をクリックすると、Onboard Administratorホーム ページを表示します。
- [ファンリダndanシ]。ファンリダndanシのステータスを表示します。[ファンリダndanシ]をクリックすると、Onboard Administratorホーム ページを表示します。
- エンクロージャ環境温度。次の情報を表示します。

- [ステータス]。アイコン フォームの現在のステータスを表示します。
- [C/F]。現在の温度を摂氏と華氏で表示します。
- [グラフ]。温度をグラフで描写します。

- エンクロージャ内に存在する各電源ユニットについて以下のような情報が表示されます。

- ベイ番号。ベイに割り当てられた番号を表示します。
- ファームウェア リビジョン。ファームウェア リビジョン番号を表示します。
- A/C入力。電源ユニットのヘルス ステータスを表示します。

- フェーズ。フェーズを表示します。
- シリアル番号。電源ユニットのシリアル番号を表示します。
- パーツ番号。電源ユニットの製品番号を表示します。
- [電力消費]。消費電力をワットで表示します。
 - [出力/容量]。現在の出力容量を表示します。
 - [グラフ]。現在の出力容量のグラフを表示します。

○ ファン セクション

- ベイ。ベイ番号を表示します。
- [ヘルス ステータス]。エンクロージャのヘルス ステータスを表示します。
- パーツ番号。ファンの製品番号を表示します。
- [使用電源 (ワット)]。現在使用されている合計のワット数を表示します。
- [速度 (RPM)]。現在の速度をRPMで表示します。

注:



このページから、別のウィンドウでエンクロージャの詳細を表示することができます。ページ上のエンクロージャ名を選択し、[エンクロージャ詳細の印刷]をクリックします。新しいウィンドウにエンクロージャの詳細が表示されます。

● p-Classエンクロージャの場合

○ 電源および温度セクション

パワーエンクロージャを使用するラック内の少なくとも1つのiLOがバージョン1.80以上のファームウェアを搭載している場合、パワーエンクロージャの[エンクロージャビュー]には、以下の情報が表示されます。

- ロード バランス ケーブル。ロード バランス ケーブルが接続されているかどうかを示します。
- [電源リダンダンシ]。電源リダンダンシのステータスを表示します。
- 温度A。パワー エンクロージャの左のセクションの全体の温度が表示されます。
- 中央温度。パワー エンクロージャの中央のセクションの全体の温度が表示されます。
- 温度B。パワー エンクロージャの右のセクションの全体の温度が表示されます。
- エンクロージャ内に存在する各電源ユニットについて以下のような情報が表示されます。
 - ベイ番号。ベイに割り当てられた番号を表示します。
 - ファームウェア リビジョン ファームウェア リビジョン番号を表示します。
 - A/C入力。電源ユニットのヘルス ステータスを表示します。
 - 入力温度。次の情報を表示します。
 - 状態。入力温度の状態を表示します。

- C/F。現在の温度を摂氏と華氏で表示します。
- グラフ。トリップ温度障害温度のグラフを表示します。
- 出力温度。次の情報を表示します。
 - 状態。出力温度の状態を表示します。
 - C/F。現在の温度を摂氏と華氏で表示します。
 - グラフ。トリップ温度障害温度のグラフを表示します。

HP Systems Insight Manager内のHP BladeSystem Integrated Managerにログインしているときに、カーソルを、ビューに表示されるコンポーネントの上にカーソルを重ねると、特定のコンポーネントに関する情報が表示されます。スロット番号/ベイ番号、サーバブレード名/IPアドレス、製品モデル、サーバが搭載されているエンクロージャなど、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。ベイに何も取り付けられていない場合は、空きベイとして表示されます。パワー エンクロージャのファームウェアが1.80よりも古い場合は、エンクロージャの各ベイに疑問符が表示されます。そのベイの上にカーソルを移動させると、ファームウェアのアップグレードを推奨するメッセージが表示されます。ピクチャ ビューのコンポーネントをクリックすると、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。[システム ページ]が表示されます。詳細については、システム ページを参照してください。ただし、ピクチャ ビューのコンポーネントに関して表示されるステータス アイコンをクリックする場合は、[エンクロージャ ビュー]ページのままです。

ピクチャ ビュー ページの下部に3つのボタンがあります。完全な設定権があるユーザだけが、このボタンを使用できます。

- [名前をつけて収集を保存]。選択されている1つのシステムまたはシステムのグループがあり、選択内容を新しい名前で保存する場合に、このボタンを使用します。変更内容は、ユーザごとに保存されます。
- [削除]。このボタンは、1つ以上のシステムをデータベースから削除する場合に使用します。削除するシステムを選択し、[削除]をクリックします。ダイアログ ボックスが表示されます。削除を続けるには、[OK]をクリックします。操作をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。ピクチャ ビューが更新されます。

注:



ピクチャ ビューからは、システムのみを削除できます。収集を選択すると、[削除]ボタンは無効になります。収集は、[収集のカスタマイズ]ページから削除してください。

注:



VMホストが削除されても、Virtual Machine Management Pack コンソールからアクセスすることができて、VMホスト上で実行することができる操作は、HP Systems Insight Manager (HP SIM) システムの削除によって影響されません。Virtual Machine Management Pack コンソールは、HP SIM ステータスを表示し続けます。

注:



["収集名"収集の選択]を確認して収集を選択する場合は、[削除]ボタンは無効になります。収集の削除は、[収集のカスタマイズ]ページから行ってください。

- [印刷]。印刷可能バージョンのピクチャを表示するには、[印刷]をクリックします。[ファイル]->[印刷]をクリックして、ブラウザからピクチャーを印刷します。

[印刷]は、権限に関係なく利用可能ですが、他のオプションは適切な権限を持っている場合にのみ有効になります。

エンクロージャの表示

エンクロージャまたはパワー エンクロージャを表示するには、ピクチャ ビューでエンクロージャ収集をクリックするか、ラック ビューの[エンクロージャ名]をクリックします。[エンクロージャ ビュー]ページが、ピクチャビューに表示されます。エンクロージャのピクチャビューページには、検出されたエンクロージャとそのエンクロージャに搭載されている検出されたサーバのイメージが含まれています。

ラックの作成

HP Systems Insight Manager (HP SIM) がデバイスを検出すると、エンクロージャのみ表示されます。エンクロージャのピクチャビューからラックを追加することができます。以前のリリースで作成したラックは、[すべてのラック]オプションからすべて利用可能です。以前作成したラックにエンクロージャを追加、または新しいラックを作成して、エンクロージャを追加することができます。ラックを作成したら、それらが[すべてのラック]オプションに表示されます。すべてのp-classラックおよびすべてのe-Classラック オプションは、利用できなくなります。

ラックを作成するには、以下の手順に従ってください。

エンクロージャのピクチャビューからラックを作成できます。既存のラックにエンクロージャを追加、またはラックを作成して、エンクロージャを追加することができます。

1. ピクチャビューにアクセスするには、[すべてのe-Classエンクロージャ]、[すべてのc-Classエンクロージャ]、または[すべてのp-Classエンクロージャ]に移動します。
2. エンクロージャをクリックします。エンクロージャ ピクチャ ビューが表示されます。

注： [識別]セクションのエンクロージャでラック名が[利用不可]と表示されている場合、ラックにはエンクロージャが含まれていません。

3. 新しいラックにエンクロージャを追加するには、[ラックにエンクロージャを追加]をクリックします。[ラックの追加]ドロップダウン リストが表示されます。

注：このオプションは、エンクロージャがラックに関連付けられている場合のみ使用することができます。

4. [ラックに追加]ドロップダウン リストから[新しいラックに追加]を選択し、[実行]をクリックします。[ラックの編集]ページが表示されます。エンクロージャビューから新しいラックを作成した場合、エンクロージャは自動的に[選択されたエンクロージャ]セクションに追加されます。

注：[ラックに追加]ドロップダウン リストには、以前作成したラックも表示されます。既存のラックにエンクロージャを追加するには、ラック名を選択して[実行]をクリックします。

必須フィールド*

ユーザ定義ラック名 *: 42 U ▼

データセンタID: データセンタ位置: TX

段番号 : 段内位置 :

利用可能なエンクロージャ

次によるフィルタ - エンクロージャ名 ▼

- EncI_09USE644285C (c-class)
- EncI_09USE6442859 (c-class)
- C7000_EncIaaa (c-class) in **cauvery**
- BLEnclosureG2-3 (p-class) in **cauvery**
- EncI_07EA0RMJS144 (p-class) in **cauvery**
- EncI_03EA0WJTK544 (p-class) in **cauvery**
- EncI_05SLPR25062 (p-class)

選択されたエンクロージャ

>>

<<

5. ラックを作成するには、次の詳細情報を追加する必要があります。
 - ラック名。 新しいラックの名前を入力し、ドロップダウン リストからラックの種類を選択します。このフィールドは必須フィールドです。
 - ラックの高さ。 ドロップダウン リストから、ラックの高さを選択します。
 - データセンタID。 データセンタIDを入力します。
 - データセンタ位置。 データセンタの場所を入力します。
 - 段番号。 エンクロージャが設置されている列番号を入力します。

- 段内位置。 エンクロージャが設置されている列の位置を入力します。

注：既存のラックにエンクロージャを追加する場合、これらの情報は自動的に入力されます。

6. [利用可能なエンクロージャ]ドロップダウン リストから、エンクロージャのリストを表示したいフィルタを選択します。[エンクロージャ名]または[Class]を選択します。クラスを入力して収集にフィルタをかけることができます。たとえば、[p-Class]と入力すると、すべてのp-Classエンクロージャをラックに追加できます。
7. 該当するラックを選択して、[>>]をクリックしてラックに追加します。ラックからエンクロージャを削除するには、[<<]をクリックします。ラック内の追加したい位置にエンクロージャをドラッグアンドドロップすることもできます。

注：[]は、デ이지ー チェーンのエンクロージャを表しています。

8. [保存]をクリックします。ラックにエンクロージャが追加され、新しいラックの画像に追加したエンクロージャが表示されます。エンクロージャが他のラックに追加されていた場合、エンクロージャが別のラックに割り当てられているというメッセージが表示されます。既存のラックからエンクロージャを削除して、新しいラックに追加するかを確認します。ラックの追加を中止するには、[キャンセル]をクリックし、ウィンドウを閉じます。

ラックの編集

ラックのピクチャビューからラックを編集して、エンクロージャを追加したり削除することができます。

ラックを編集するには、以下の手順に従ってください。

1. ピクチャビューにアクセスするには、[すべてのラック]に移動して、編集するラックを選択し[ラックの編集]をクリックします。[ラックビュー]ページが表示されます。

注：ラックは、ピクチャビューからのみ編集および削除できます。

2. ラックを編集するには、次の情報を変更することができます。
 - ラック名。 新しいラックの名前を入力し、ドロップダウン リストからラックの種類を選択します。
 - データセンタID。 データセンタIDを入力します。
 - データセンタ位置。 データセンタの場所を入力します。
 - 段番号。 エンクロージャが設置されている列番号を入力します。
 - 段内位置。 エンクロージャが設置されている列の位置を入力します。
3. [利用可能なエンクロージャ]ドロップダウン リストから、エンクロージャのリストを表示したいフィルタを選択します。[エンクロージャ名]または[Class]を選択します。
4. 該当するラックを選択して、[>>]をクリックしてラックに追加します。ラックからエンクロージャを削除するには、[<<]をクリックします。

注：[]は、デ이지ー チェーンのエンクロージャを表しています。

5. [保存]をクリックします。ラックにエンクロージャが追加され、新しいラックの画像に追加したエンクロージャが表示されます。エンクロージャが他のラックに追加されていた場合、エンクロージャが別のラックに割り当てられているというメッセージが表示されます。既存のラックからエンクロージャを削除して、新しいラックに追加するかを確認します。

Onboard Administrator設定の保存

現在のc-Classエンクロージャの設定を設定スクリプトに保存することができます。この設定ファイルに保存した後、Onboard Administratorを使用してエンクロージャを以前の設定に戻すために、この設定スクリプトをアップロードすることができます。設定ファイルを保存する場合、エンクロージャに固有のファイル名を入力する必要があります。また、1つのc-Classエンクロージャに複数の設定スクリプトを保存することもできます。

c-Classエンクロージャの設定を保存するには、以下の手順に従ってください。

1. Onboard Administratorの[ツール&リンク]ページから、[Onboard Administrator設定の保存/リストア]をクリックします。

注：[設定]セクションの[Onboard Administrator設定の保存/リストア]からこのオプションにアクセスできます。

2. Onboard Administrator用のユーザ名とパスワードを入力します。[保存/リストア 設定スクリプト]ページが表示されます。
3. 固有の設定スクリプトの名前を入力し、[保存]をクリックします。名前は、以下の条件を満たしている必要があります。

- アルファベットおよびアンダーバーやピリオドなどの特殊文字が使用可能。
- 先頭はアルファベットから始っている。

設定スクリプトは、[設定の復元]セクションに表示されます。

Onboard Administrator設定の復元

以前保存しておいた各設定スクリプトを選択して、エンクロージャの設定を以前の状態に復元することができます。

c-Classエンクロージャの設定を復元するには、以下の手順に従ってください。

1. エンクロージャの[ツール&リンク]ページから、[Onboard Administrator設定の保存/リストア]をクリックします。
2. Onboard Administrator用のユーザ名とパスワードを入力します。[保存/リストア 設定スクリプト]ページが表示されます。
3. [設定の復元]セクションから、復元する設定スクリプトが含まれるファイルを選択します。
4. [復元]をクリックします。エンクロージャの設定が復元されます。

設定スクリプトの削除

設定スクリプトを削除することができます。

c-Classエンクロージャの設定を削除するには、以下の手順に従ってください。

1. エンクロージャの[ツール&リンク]ページから、[Onboard Administrator設定の保存/リストア]をクリックし、削除する設定スクリプトを選択し、[削除]をクリックします。

注：同時に複数の設定を同時に選択して削除することができます。

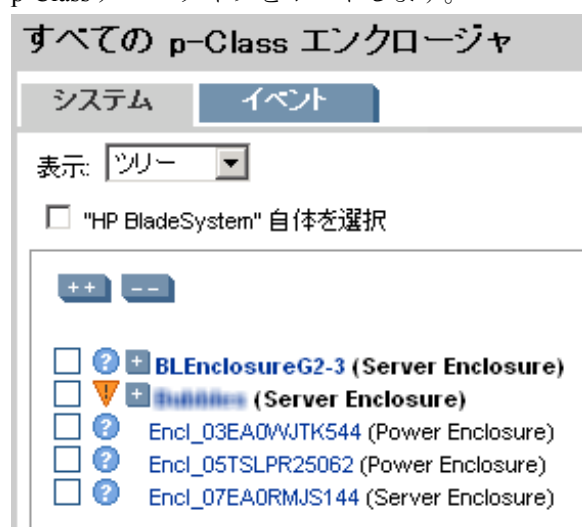
2. ブラウザの[戻る]をクリックして、Onboard Administratorの[ツール/リンク]ページに移動します。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- e-Classエンクロージャの表示
- ツリー ビュー ページでの操作

p-Classエンクロージャの表示

p-Classエンクロージャは、1セットのエンクロージャがハードウェア レベルでネットワークに接続されている場合、1つのラック全体を構成します。 p-classエンクロージャは、ProLiant BL p-Classサーバタイプをホストします。



p-Classエンクロージャを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. HP Systems Insight Manager ホーム ページから[システムおよびイベント]パネルの[HP BladeSystem]収集を展開します。
2. [すべてのp-Classエンクロージャ]収集を展開します。 p-Classエンクロージャ ツリーが展開されます。
3. 表示したいエンクロージャのあるラックを展開します。
4. 表示したいエンクロージャ名をクリックします。 [エンクロージャ ビュー]ページにエンクロージャが表示されます。

注： p-Classパワーエンクロージャおよび電源リダンダンシ情報は、少なくともiLOのファームウェアが1.82以降でなければ表示されません。

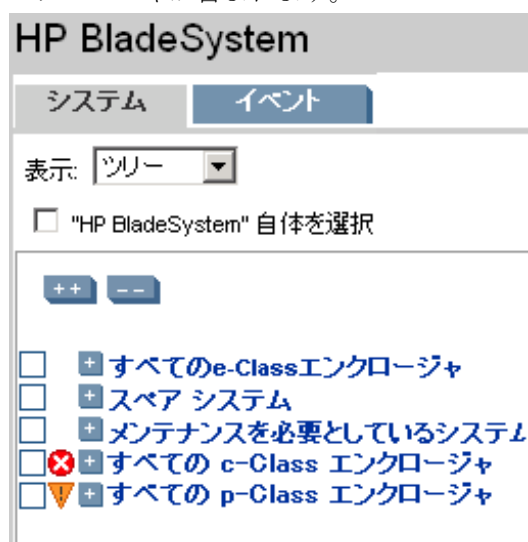
5. デフォルトのツリービューの表示を変更するには、[表示]ドロップダウンリストから[テーブル]または[アイコン]を選択します。 ページが新しいビューで表示されます。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- ツリービュー ページでの操作
- p-Classエンクロージャの表示

e-Classエンクロージャの表示

e-Class収集には、bc1000/bc1500 PCブレードタイプ、およびe-Class BL10eサーバブレードを含む20 PCブレードをホストする、統合されたクライアントインフラストラクチャブレードPCエンクロージャが含まれます。



すべてのe-Classエンクロージャにアクセスするには、以下の手順に従ってください。

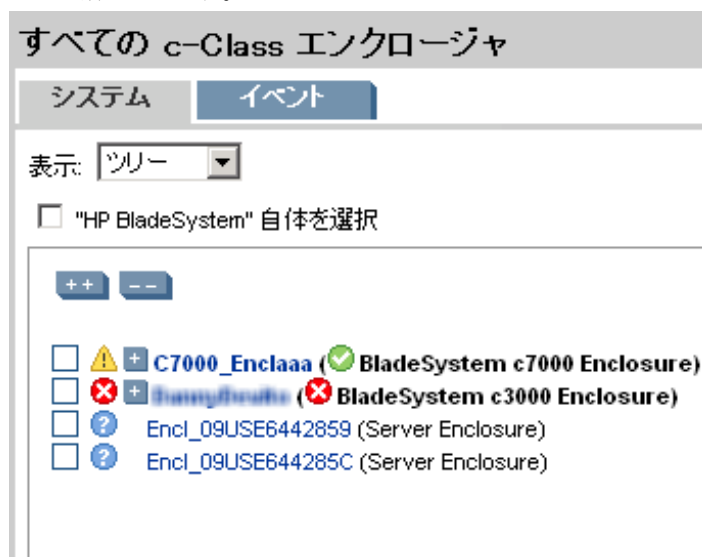
1. HP Systems Insight Managerホーム ページから[システムおよびイベント]パネルの[HP BladeSystem]収集を展開します。
2. [すべてのe-Classエンクロージャ]収集を展開します。[すべてのe-Classエンクロージャ]ツリーが展開します。
3. 表示したいエンクロージャ名をクリックします。[エンクロージャ ビュー]ページにエンクロージャが表示されます。
4. デフォルトのツリービューの表示を変更するには、[表示]ドロップダウンリストから[テーブル]または[アイコン]を選択します。 ページが新しいビューで表示されます。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- ツリービュー ページでの操作
- e-Classエンクロージャの表示

c-Classエンクロージャの表示

c-Class収集は、アダプティブ コンピューティングを有効にし、Rapid Deploymentで最適化された、HP BladeSystem c7000/c3000エンクロージャ、HP ProLiant BL c-Classサーバブレード、ネットワーク インターコネクト コンポーネント、Onboard Administrator、およびマネジメント ツールで構成されます。



c-Classエンクロージャを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. HP Systems Insight Managerホーム ページから[システムおよびイベント]パネルの[すべての c-Classエンクロージャ]をクリックします。切り替え展開コントロールで[c-Classエンクロージャ]収集を展開することができます。c-Classラックおよびエンクロージャが表示されます。
2. 表示したいラックをクリックします。[ラック ビュー]ページが表示されます。
注：表示したいラックの隣にある切り替え展開コントロールでエンクロージャを展開して、エンクロージャをクリックすることもできます。
3. デフォルトのツリー ビューの表示を変更するには、[表示]ドロップダウンリストから[ピクチャ]、[テーブル]、または[アイコン]を選択します。 ページが新しいビューで表示されます。

c3000クラス エンクロージャを表示するには、以下の手順に従ってください。

1. HP Systems Insight Managerホーム ページから[システムおよびイベント]パネルの[すべての c-Classエンクロージャ]をクリックします。切り替え展開コントロールで[c-Classエンクロージャ]収集を展開することができます。 c-Classラックおよびエンクロージャが表示されます。
2. 表示したいラックをクリックします。[ラック ビュー]ページが表示されます。
3. デフォルトのツリー ビューの表示を変更するには、[表示]ドロップダウンリストから[テーブル]または[アイコン]を選択します。 ページが新しいビューで表示されます。

システム イベント

更新済み: 2007/05/11, (金), 11:00 CDT

表示: ピクチャ

システム ステータス

ヘルス ステータス !

識別	
エンクロージャ名	OA-0018FE2737D5 [印刷用エンクロージャ詳細]
シリアル番号	1234567890
UUID	091234567890
ラック名	利用不可 (ラックへエンクロージャを追加)
ユニットID (LED)	OFF
Onboard Administrator	172.25.200.103
Virtual Connect Manager	172.25.200.124
VCM Domain Name	OA-0018FE2737D5_vc_domain

電源および温度

電源リダンダンシ [上限付きACリダンダンシ](#)

ファン リダンダンシ [非リダンダンシ](#)

エンクロージャ周囲温度

ステータス | °C | °F | グラフ

✔
24 / 75.2

75 80

ベイ	FW Rev	A/C入力	シリアル番号	パーツ番号	電力消費 (ワット)
1	0.00	Normal	531300ALL00065	438203-001	168 / 900
4	0.00	Normal	利用不可	利用不可	72 / 900

ファン				
ベイ	ヘルス ステータス	パーツ番号	使用電源 (ワット)	速度 (RPM)
2	✔	412140-B21	16	6243
3	✔	412140-B21	18	7994
4	✔	412140-B21	16	8003
5	✔	412140-B21	13	6237
6	✔	412140-B21	21	8008

OA-0018FE2737D5

☐ すべてのブレード

☐ すべてのインターコネクト スイッチ

☐ すべてのOnboard Administrator フロントビュー



Rear View



名前をつけて収集を保存...

削除

印刷

注:



c3000クラス エンクロージャは、ファームウェア バージョン2.00のOnboard Administratorでサポートされます。

注:



c3000エンクロージャでは、リダンダンシOnboard Administratorはサポートされません。

関連項目

- 概要
- HP BladeSystemページ
- ツリー ビュー ページでの操作
- c-Classエンクロージャの表示

システム タブでの操作

ラックおよびエンクロージャのピクチャ ビュー ページには、利用可能な場合、ラックまたはエンクロージャ内で検出されたシステムのピクチャ ビューが含まれています。ラックのピクチャービュー、テーブルビュー、またはアイコンビューとともに、ラック名が表示されます。HP Systems Insight Manager(HP SIM) にサインインして、ビューに表示されるサーバの上にカーソルを重ねると、サーバブレード名、スロット番号、サーバが配置されているエンクロージャなど、そのサーバに関する情報が表示されます。コンポーネント名をクリックすると、そのコンポーネントに関する詳細な情報が表示されます。[システム ページ]が表示されます。

属性	値
エンクロージャ名	CMSEnclosure
シリアル番号	EA0RMJS144
UUID	07EA0RMJS144
ファームウェアリビジョン	利用不可
電源ゾーン	利用不可
ユニットID (LED)	利用不可
温度 °C	利用不可
ヘルス ステータス	▼

At the bottom of the interface, there are buttons for 'ラックの編集', '名前をつけて収集を保存...', '削除', and '印刷'.

[ラック ビュー]ページには、以下の情報が示されます。

- ヘッダ内にラック名。ラックの名前を表示します。
- アップデート：(タイムスタンプ)。自動で更新されて、最後に更新されたタイムスタンプが表示されます。

注：これは、クライアントの時刻ではなく、中央管理サーバの時刻が反映されます。

- 括弧内にシステム タイプ（ラック）。括弧内にシステム タイプを表示します。
- ヘルプリンク。オンラインヘルプを表示するには、クエスチョンマークで表示されているヘルプリンクをクリックします。
- 表示方法ドロップ ダウン リスト。次のいずれかのビューを選択します。
 - テーブル ビュー。詳細については、テーブル ビュー ページでの操作項を参照してください。
 - ツリー。詳細については、ツリー ビュー ページでの操作項を参照してください。
 - アイコン。詳細については、アイコン ビュー ページでの操作項を参照してください。
 - ピクチャ。詳細については、ピクチャ ビュー ページでの操作項を参照してください。
- 複数選択が可能な以下のチェック ボックス。以下のデバイス タイプに基づいて選択します。
 - [すべてのブレード]
 - [すべてのインターコネクト スイッチ]
 - [すべてのOnboard Administrator]
 - すべてのエンクロージャ
- [フロントおよびリア ビュー]。実際のフロントおよびリアの図が表示されます。
 - ラック内の各エンクロージャについての折り畳み可能なトレイ（タイトルバーにエンクロージャのステータスと名前）
 - 選択可能なすべてのアイテム上に選択チェック ボックス
 - ステータスを持つすべてのアイテム上にステータス アイコン
 - そのシステムの[システム ページ]への各ブレードまたはスイッチのハイパーリンク
- [エンクロージャ詳細]。画像の右側に、以下の項目を含むエンクロージャの詳細情報
 - [エンクロージャ名]。エンクロージャのピクチャ ビューを表示するには、[エンクロージャ名]をクリックします。
 - [シリアル番号]。システムのシリアル番号を表示します。
 - [ラック名]。ラックの名前を表示します。
 - [ユニットID (LED)]。ユニットIDがオンかオフかを確認します。
 - [ヘルス ステータス]。エンクロージャのヘルス ステータスを表示します。
 - [データセンタID]。どのラックに属しているかデータセンターの識別番号を表示します。
 - [データセンタ位置]。どのラックに属しているかデータセンターの場所を表示します。
 - [段番号]。ラックの列番号を表示します。
 - [段内位置]。列内のラックの位置を示します。

データセンタID、データセンタ位置、段番号、段内位置などの詳細は、新しいラックを作成または既存のラックを編集したときのみ表示されます。

以下の詳細は、c-Classエンクロージャのみ表示されます。

- [Onboard Administrator]。Onboard Administratorホームページへのリンクを表示します。
- [vcm1]。Virtual Connect Manager (VCM) のIPアドレスを表示します。IPアドレスをクリックするとVCMシステムにアクセスできます。
- [VCM Domain Name]。VCMのドメイン名を表示します。
- ファームウェア リビジョン。ファームウェア リビジョン番号を表示します。

注：このオプションは、p-Class収集のみ利用可能です。

- [電源ゾーン]。ラックが設置されているラックの電源ゾーンを表示します。電源の状態が変化するとアラートを表示します。たとえば、管理者がエンクロージャから電源を取り外した場合にアラートを表示します。

注：このオプションは、p-Class収集のみ利用可能です。

- [温度C/F]。現在のエンクロージャの温度を摂氏と華氏で表示します。

注：このオプションは、p-Class収集のみ利用可能です。

- [ファンリダンダンシ]。ファンリダンダンシのステータスを表示します。[ファンリダンダンシ]をクリックすると、Onboard Administratorホームページを表示します。

注：このオプションは、c-Class収集のみ利用可能です。

- [電源リダンダンシ]。[電源リダンダンシ]をクリックすると、Onboard Administratorホームページを表示します。

注：このオプションは、c-Class収集のみ利用可能です。

- パワー エンクロージャの場合、次のような情報も表示されます。

- [ロード バランス ケーブル]。ロード バランス ケーブルが接続されているかどうかを示します。
- [電源リダンダンシ]。iLOのファームウェアが1.82以降の場合、エンクロージャのパワーリダンダンシ情報を表示します。

注：このオプションは、p-Class収集のみ利用可能です。

注:



エンクロージャは、パワー エンクロージャを使用するラック内の少なくとも1つのiLOがバージョン1.82以上のファームウェアを搭載している場合に強調表示されます。

HP Systems Insight Manager内のHP BladeSystem Integrated Managerにログインしているときに、ビューに表示されるコンポーネントの上にカーソルを重ねると、特定のコンポーネントに関する情報が表示されます。スロット番号/ベイ番号、ブレードサーバ名/IPアドレス、製品モデル、サーバが搭載されているエンクロージャなど、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。ベイに何も取り付けられていない場合は、空きベイとして表示されます。パワー エンクロージャのファームウェアが1.80よりも古い場合は、エンクロージャの各ベイに疑問符が表示されます。そのベイの上にカーソルを移動させると、ファームウェアの1.80以上へのアップグレードを推奨するメッセージが表示されます。また、コンポーネントをクリックすると、そのコンポーネントに関する情報が表示されます。[システムページ]が表示されます。詳細については、システム ページを参照してください。

システム リストのボタン

[システム]タブ（ピクチャビュー）の下部にある3つのボタンは、完全な設定権があるユーザだけが使用できます。

- [名前をつけて収集を保存]。強調表示されている1つのシステムがあり、選択内容を新しい名前でも保存する場合に、このボタンを使用します。変更内容は、ユーザごと、あるいは収集ごとに保存されます。
- [削除]。このボタンは、1つまたは複数のシステムをデータベースから削除するために使用します。削除するシステムを選択し、[削除]をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。削除を続けるには、[OK]をクリックします。操作をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。
- [印刷]。レポートが表示されたら、ブラウザのメニューから[ファイル]->[印刷]をクリックし、レポートを印刷します。

注:

以下の機能はHP Systems Insight Managerではサポートされていません。

- [印刷]ダイアログボックスでは、[印刷の向き]を[横]に変更することができません（この問題の回避方法については『HP Systems Insight Managerテクニカルリファレンスガイド』の「印刷の問題」を参照してください）。
- 印刷ジョブの実行開始後に印刷をキャンセルすることはできません。ただし、オペレーティングシステムの印刷キューにアクセスし、印刷ジョブをキャンセルすることは可能です。
- ファイルに印刷できません。
- 選択されたシステムに関する情報が印刷できず、システムのリスト全体のみが印刷可能です。
- 印刷要求の発行直後にブラウザを閉じた場合、システム テーブル ビュー ページは印刷されません。



ユーザに適切な権限がない場合、ボタンは無効になります。ただし、[印刷]ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

収集の保存

収集を別の名前で保存したり別の場所に保存することができます。

収集を保存するには以下の手順に従ってください。

1. [名前]フィールドに、収集の名前を入力します。
2. [フォルダ]から、収集を保存する場所を選択します（共有フォルダのうちの1つのPrivateフォルダ内）。
3. 収集を保存するには、[OK]をクリックします。保存をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。

ブレード システムの削除

ラックからブレードシステムを削除することができます。

1. システムタブ（ピクチャビュー）から、表示されているイメージに関連付けられたチェックボックスを選択して、ラックまたはエンクロージャから削除するシステムを1つまたは複数選択します。
2. [削除]をクリックします。 **これらのシステムを削除しますか?**というダイアログボックスが表示されます。
3. システムを削除するには[OK]をクリックし、システムを削除しないでシステムタブ（ピクチャビュー）にもドルには、[キャンセル]をクリックします。

注:



コンテナ（たとえばラック）は、削除する前に空にしておく必要があります。ラックと含まれているすべてのシステムを選択するとエラーになりません。

関連項目

- ラックの表示
- 概要
- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- イベントタブでの操作
- ツール&リンク タブでの操作

イベント タブでの操作

c-Classラックまたはエンクロージャの[イベント]タブには、エンクロージャまたはラック内の現在のすべてのデバイス イベントをテーブルビューで表示します。

イベント テーブル ビュー ページは、以下のセクションに分かれています。

1. フィルタ条件
2. イベント ステータスの凡例
3. イベント収集の列
4. イベントの詳細
5. イベント管理のボタン

システム イベント

表示 すべてのイベント

イベントの詳細を表示するには、[イベント タイプ]の項が表示されているのを確認したのち、目的のリンクをクリックしてください。

サマリ: ❌ 0 クリティカル ▽ 0 メジャー ⚠ 0 マイナー ▲ 0 警告 ✅ 0 正常 ℹ 1 情報 合計: 1

<input type="checkbox"/>	ステータス	深刻度	イベント タイプ	システム名	イベント時刻 ↓	担当者
<input type="checkbox"/>	未確認	❌	System is unreachable	Enclosure 1	2/20/07 1:45 AM	
<input type="checkbox"/>	未確認	ℹ	Discovered System	Enclosure 1	2/20/07 1:44 AM	
<input type="checkbox"/>	未確認	ℹ	Discovered System	Enclosure 09USE6442859	2/19/07 10:24 PM	
<input type="checkbox"/>	未確認	ℹ	Discovered System	Enclosure 09USE644285C	2/19/07 10:24 PM	
<input type="checkbox"/>	未確認	ℹ	Discovered System	C7000_Enclosure	2/19/07 10:23 PM	
<input type="checkbox"/>	未確認	ℹ	Discovered System	Enclosure 03EA0WJTK544	2/19/07 10:22 PM	

このページから、イベントの確認、削除、および割り当てに加えて、イベントに関するコメントを入力したり、印刷可能なレポートを表示したりすることができます。

フィルタ条件

イベントリストは、ブレード、スイッチ、またはOnboard Administratorイベントなどの個々のシステムを別々に表示するために、[フィルタ条件]ドロップダウンリストを使用してフィルタリングしたり、すべてのイベントを表示することができます。

イベントリストをフィルタリングするには、以下の手順に従ってください。

- [フィルタ条件]ドロップダウンリストから、条件を選択します。
 - すべてのOnboard Administratorイベント 全てのOnboard Administratorから報告されたイベントは、選択したラックまたはエンクロージャに含まれます。このオプションは、c-Classラックまたはエンクロージャのみ利用可能です。
 - すべてのブレード イベント 全てのブレードから報告されたイベントは、選択したラックまたはエンクロージャに含まれます。このオプションは、p-Classおよびc-Classラックまたはエンクロージャと同様にe-Classエンクロージャでも利用可能です。
 - すべてのスイッチ イベント 全てのスイッチから報告されたイベントは、選択したラックまたはエンクロージャに含まれます。このオプションは、p-Classおよびc-Classラックまたはエンクロージャで利用可能です。
 - すべてのイベント タイプ 選択したラックまたはエンクロージャ内のすべてのデバイスから公開されたイベントです。このオプションは、p-Classおよびc-Classラックまたはエンクロージャで利用可能です。
- [表示]をクリックします。フィルタリングされたイベントリストが表示されます。

イベント ステータスの凡例

凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。

イベントの詳細

以下の部分をクリックすると、イベント収集が表示されます。

- [システムおよびイベント収集]パネルのイベント収集
- [システム ステータス]パネルのイベント ステータス アイコン
- [システム ページ]の[このシステムに関連付けられたすべてのイベント]リンク
- プライベート イベント収集
- [システム概要]ページの[未確認イベント]セクションのハイパーリンク

イベント収集は、権限に基づいてフィルタリングされます。ユーザは、適切な権限を持つシステムのイベントだけを表示することができます。

HP Storage Essentialsがインストールされている場合は、このセクションのリンクから、HP Storage Essentialsの対応するイベント詳細を表示することができます。

イベント収集の列

特定の列によって収集を並び替えることができます。列を並び替えるには、列見出しをクリックして昇順か降順に並び替えます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。

以下の列が表示されます。

- 選択
- 状態
- 深刻度
- イベント タイプ
- システム名
- イベント時間
- 担当者
- コメント
- システム タイプ
- ラック名
- エンクロージャ名

選択

イベントを選択するには、この列のチェックボックスをオンにします。複数のイベントを選択できます。表示されるすべてのイベントの選択または選択解除を行うには、列見出しのチェックボックスを選択します。

状態

この列には、イベントが確認済み状態になっているかどうかが表示されます。イベントは、未確認状態から始まります。確認済み状態とは、ユーザがこのイベントに関心がなくなったことを表します。イベント状態には[進行中]も含まれます。[進行中]は、まだログに記録されていないイベントデータがあることを示します。[進行中]状態のイベントは、削除することもクリアすることもできません。HP SIM CMSを再起動すると、保留状態のイベントが未確認になります。

深刻度

この列にはイベント ステータス アイコンが表示され、イベントによって表現される問題の深刻度が表示されます。

イベント タイプ

この列には、イベントのタイプが表示されます。SNMPトラップやログイン障害のほか、エージェント設定のレプリケートといったイベントタイプも示されます。[イベントの詳細]セクションを表示するには、リストからイベントタイプを選択します。表示される情報は、イベントによって異なります。列でイベントタイプの一部が隠れて見えない場合は、カーソルをこのフィールドの上に移動させると、イベント タイプ名全体を示すポップアップ ウィンドウが表示されます。

システム名

この列は、イベントが発生したシステムの名前を表示します。この列のリンクをクリックすると、選択されているシステムの[システム ページ]が表示されます。

ラックまたはエンクロージャ全体に影響するイベントが発生すると、そのラックまたはエンクロージャ内の複数のシステムがそのイベントに関するトラップを生成することがあります。このコンテナトラップはフィルタリングされ、ラックまたはエンクロージャトラップごとに1つのイベントだけがログ記録されます。また、トラップの送信元がブレードサーバまたは管理プロセッサであっても、HP Systems Insight Managerは、必要に応じて、ログ記録されたイベントのイベント送信元および関連システムをラックまたはエンクロージャに設定します。

イベント時間

この列は、HP SIM CMSがこのイベントを受信した日時を示すタイム スタンプを表示します。システムがイベント時間（CMS時間）と異なるタイムゾーンにある場合、イベント時間は、システムのタイム ゾーンに変換されます。

担当者

イベントの責任をユーザに割り当てるには、イベントを選択し、ページの下部にある[担当者]をクリックします。[担当者]セクションが表示されます。このセクションで、新しい担当者を選択して割り当てるか、既存の担当者を使用します。既存の担当者を使用する場合は、1つのユーザ名のみをリストから選択できます。ユーザ名には、システムで権限を持ったユーザやCMSにログイン可能なユーザの名前を指定する必要はありません。このフィールドは書式なしのテキスト フィールドです。

コメント

この列は、このイベントに関する既存のコメントを表示します。コメントが入力されていない場合は、空白になります。列の幅より長いコメントは、切り取られます。必要な場合はイベント タイプをクリックし、コメント全体を表示します。コメント フィールドの上にカーソルを重ねると、ポップアップ ウィンドウにコメント全体が表示されます。

システム タイプ

この列は、エンクロージャやラックなどのシステム タイプを表示します。

ラック名

この列は、ラックの名前を表示します。

注:



この列は、システムがラックまたはエンクロージャの場合に表示されます。

エンクロージャ名

この列は、エンクロージャの名前を表示します。

注:



この列は、システムがラックまたはエンクロージャの場合に表示されます。

イベント管理のボタン

イベントテーブルビューページの下部にある5つのボタンは、完全な設定権があるユーザだけが使用できます。このページをどこからアクセスしたかによっては、これらのボタンが表示されない場合もあります。たとえば、タスクを作成してターゲットを選択した場合、表がシステム名のみが表示され、ボタンは表示されません。

- [確認済み]。このボタンは、1つまたは複数のイベントをデータベースで確認済み状態にするために使用します。クリアするイベントを選択し、[確認済み]をクリックします。
- [削除]。このボタンは、1つ以上のイベントをデータベースから削除する場合に使用します。削除するイベントを選択し、[削除]をクリックします。ダイアログボックスが表示されます。削除を続けるには、[OK]をクリックします。削除をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。
- [担当者]。このボタンは、イベントの権限を特定のユーザに割り当てる場合に使用します。
- [コメントの入力]。1つまたは複数のイベントに関するコメントを入力するためのダイアログボックスが表示されます。
- [印刷]。レポートが表示されたら、ブラウザのメニューから[ファイル]->[印刷]をクリックし、レポートを印刷します。

適切な権限がない場合は、ボタンが無効になります。ただし、[印刷]ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

関連手順

- システム タブでの操作

- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- ツール&リンク タブでの操作

関連項目

- 概要
- システム ページ

システム ページ

[システム ページ]は、特定のシステムに関する情報を表示するために使用されます。このページには、以下のタブが表示されます。

- [システム]タブ。一般システムとステータスの情報が表示されます。詳細については、システム タブでの操作項を参照してください。
- [ツール&リンク]タブ。[システム マネジメント]ページへのリンク、HP Systems Insight Manager ページへのリンク、およびその他のツールや情報へのリンクがあります。詳細については、ツール&リンク タブでの操作項を参照してください。
- [イベント]タブ。システムのイベント テーブル ビュー ページが表示されます。詳細については、イベント タブでの操作項を参照してください。
- [パフォーマンス/利用率]タブ。システムのパフォーマンスに関する全般的な情報が表示されます。詳細については、[パフォーマンス/利用率]タブでの操作項を参照してください。
- [ポートマッピング/メザニン カード タブ]。c-Classブレードおよびスイッチのポートの割り当てが表示されます。詳細については、ポート マッピング/メザニン カード タブでの操作項を参照してください。

注：このタブは、c-Class収集のみ表示されます。

- [Essentials]タブ。利用可能なソフトウェアの名前とより詳細な情報を入手できるHP Webサイトへのリンクが表示されます。完全および制限された権限を持つユーザのみが[Essentials]タブが表示されます。

[システム ページ]にアクセスするには、次の2つの方法があります。

- [ツール]->[システム情報]->[システム ページ]の順にクリックします。次に、ターゲット システムを選択します。
- システム テーブル ビュー ページの[システム名]列でシステム名をクリックします。

関連項目

- システム タブでの操作
- ツール&リンク タブでの操作
- イベント タブでの操作
- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- 概要
- e-Classエンクロージャの表示

システム タブでの操作

[システム]タブでは、ステータス アイコンにより、データベースに保存されている、全体的なヘルス ステータスが表示されます。システムがサスペンド状態になっている場合、ハードウェア ステータス アイコンおよびソフトウェア ステータス アイコンの代わりに、無効アイコンが表示されます。[ステータス情報]セクションにはシステムステータスに関する詳細情報が表示されます。

サーバの[システム]タブ ページは、次のセクションに分かれています。

- システム ステータス
- 詳細情報
- 識別
- 製品説明

- HP Insight Power Manager
- 連絡先情報
- 資産情報
- 管理プロセッサ
- ホスト サーバ
- パートナー デバイス
- 関連情報

システム ステータス

このセクションには、次の情報が含まれています。

- [ヘルス ステータス] システムの全体的なステータスです。この情報は、Webベース エンタープライズ管理 (WBEM)、SNMP、デスクトップ管理インタフェース (DMI)、および HTTP プロトコルから取得され、最も重大なステータスが表示されます。ping (ICMP または TCP 到達可能性テスト) は、常に実行されます。HP System Management Homepage (SMH) にアクセスするには、[ヘルス ステータス] リンクをクリックします (存在する場合)。SMH が存在しない場合は、リンクは [プロパティ ページ ステータス] ページにアクセスします。使用できるオプションがない場合、[ヘルス ステータス] リンクは表示されません。
- [管理プロセッサ ステータス] 管理プロセッサ ステータスは、使用可能な場合、管理プロセッサの Web サーバにリンクします。
- [ソフトウェア ステータス] ソフトウェア ステータス アイコンは、使用可能な場合、システム ソフトウェア バージョン コントロール エージェントにリンクします。
- [無効なステータス] サスペンド状態にあるシステムでは、システム テーブル ビュー ページの [HW] および [SW] 列に無効アイコンが表示されます。
- [脆弱性ステータス] システムの脆弱性ステータスは、システムの外部セキュリティ スキャンにより判定された、セキュリティおよび構成上の弱点を示します。
- 契約および保証ステータス [契約および保証ステータス] は、Windows CMS が設置され Service Essentials Remote Support Pack がインストールされている環境で使用できます。契約と保証データ収集を有効にした HP システムの契約および保証ステータス アップデートを表示することができます。[契約および保証ステータス] アイコンをクリックして、[契約および保証詳細] ページを表示してください。
- [全体イベントステータス] [全体イベントステータス] には、システムのすべての未確認イベントの概要が表示されます。イベントの追加、更新、または削除が行われると、このステータスは必ず更新されます。システムの [システム ページ イベント] タブを表示するには、[全体イベントステータス] アイコンをクリックします。

注:



システムが現在、サスペンドモードにある場合、[システム ページ] の [システム ステータス] には、**[次の時間までシステムの監視は保留されます]** というメッセージとともに、監視が回復される予定の日付と時刻が表示されます。

パートナーアプリケーションについては、それぞれのステータスを中央管理サーバ (CMS) に登録しておくことができます。その場合、これらのステータスは [ヘルス ステータス] の下と、

システム テーブル表示ページのステータス列に表示されます。たとえば、[System Security Vulnerability Status]は、Vulnerability and Patch Management Packに関するシステム ステータスについての詳細情報にリンクします。

詳細情報

このセクションには、システムに関するさらに詳細な情報が表示され、このシステムで使用可能なすべてのシステム情報ツールが表示されます。リンクには、以下のものがあります。



- [HP System Management Homepage] SMHが使用可能な場合は、これを起動します。
- [プロパティ] [プロパティ]ページが使用可能な場合は、これを起動します。
- [Partition Manager View] Partition Managerが使用可能な場合は、これを起動します。
- [Virtual Manager Host View] Virtual Manager Host Viewが使用可能な場合は、これを起動します。

識別

このセクションは、[システム ページ]に初めてアクセスしたときは必ず展開されます。

注:



このセクションは、をクリックすると展開され、をクリックすると折り畳まれます。

重要:



DMI識別は、WindowsベースおよびHP-UXベースの中央管理サーバ (CMS) のインストールでのみサポートされています。また、同種のオペレーティング システムしか識別できません。たとえば、WindowsベースのCMSはWindowsベースのDMIシステムだけを、HP-UXベースのCMSはHP-UXベースのDMIシステムだけを、それぞれ識別できます。

このセクションには次の項目が含まれています。

- [アドレス] そのシステムについて検出されたIPアドレス。
- [優先システム名] システムの名前。デフォルトはDNSからホスト名 (使用可能な場合)。
[ツール&リンク]タブの[システム プロパティの編集]リンクを使用してこの設定を変更することができます。
- [ネットワーク名] 完全に限定したDNS名 (使用可能な場合)。IPアドレスによるDNSの逆引きが有効になっており、正引きと一致する必要があります。
- [UUID] システム上のエージェントまたはその他の装置からの固有ID。
- [シリアル番号] システムのシリアル番号です。

システム名が「orphan_nnn」になる理由



オーファンシステムとして説明されているシステムは、IPアドレスと名前の両方が、別のシステムに再割り当てされたことをHP Systems Insight Manager (HP SIM) が検出したシステムです。この再割り当ては、DHCPアドレス割り当ての変更とシステムの名前変更が同時に行われて発生することがあります。ただし、最も一般的な原因は、Altirisのようなドライブ イメージ生成ソフトウェアを使用することです。システムのイメージ生成では、識別するために、WebエージェントとHP SIMで、グローバルユニーク識別子が使用されます。Windowsシステムでは、イメージを作成する前にレジストリから

HKEY_LOCAL_MACHINE\Software\Compaq\CIMAgent\GUIDレジストリ キー エントリを削除すると、この問題を防止できます。イメージが生成済みのシステムの場合は、基本エージェントを停止し、キーを削除してから、エージェントを再起動します。新たに検出することによって、問題が訂正されます。古い「ORPHAN」システムをHP SIMシステム リストから削除してください。

製品説明

注:



このセクションは、をクリックすると展開され、をクリックすると折り畳まれます。

このセクションには、次の情報が含まれています。

- 製品ID ID番号です。サーバのシリアル番号に追加すると、HPサポートがHP製システムを特定できるようになります。
- システム タイプ 識別によって戻される基本的なシステム タイプ。
- システム サブタイプ 識別によって返されるシステムのサブタイプ。
- 製品モデル メーカーが定義した製品のモデル (名前) 。
- ハードウェアの説明 [システム プロパティの編集]ページから取得したハードウェアの説明。
- OS名 システムのオペレーティング システム名。オペレーティング システムベースのシステム収集でフィルタリングに使用されます。
- ツール フィルタリング用OS 短いオペレーティング システム名。ツール フィルタリング 定義ファイルに使用されます。
- OS説明 オペレーティング システムの詳細説明 (サービス パック情報など) 。
- OSバージョン オペレーティング システムの数値表現。
- 管理プロトコル システムの識別を試みた際に応答した管理プロトコル。

注記：より多くのプロトコルが予想される場合は、[システム プロトコル設定]ページで設定されている証明書を検証してください。

- サーバの役割 ユーザが設定可能なProLiantエージェントからのサーバの役割。HP System Management Homepageから設定できます。
- コメント SNMPまたはその他のエージェントからユーザが設定可能なコメント。
- 実行されているアプリケーション システム上で稼動しているすべてのアプリケーションのリスト。

HP Insight Power Manager

HP Insight Power Manager (IPM) は、電源データを集約するHP Systems Insight Manager (HP SIM) プラグインです。これは、オペレーティングシステムに依存しないリモート制御を提供します。さらに、消費電力および放熱効率の履歴を監視することができ、これらのリソースを効率的に管理することができます。これは、サーバに新しいレバーを提供し、ポリシーベースの電源および温度管理を可能にすることによって、統合インフラストラクチャフレームワークを拡張します。

注:



このセクションは、**+**をクリックすると展開され、**-**をクリックすると折り畳まれます。

HP SIM上でIPMがインストールおよび設定され、選択したサーバがIPMをサポートしライセンスが適用されている場合、このオプションは、単一システムのグラフおよび分析セクションを表示します。

連絡先情報

このセクションには、次の情報が含まれています。

- 場所 システムの物理位置でエージェントからユーザ設定が可能なフィールド。
- 連絡先 エージェントからユーザ設定が可能なシステムの連絡先。

注記：連絡先および製品説明のセクションにある多くのフィールドは、CMSの[システムプロパティの編集]ページからローカルで上書きすることができます。

サポート資格情報

- 開始日付 契約または保証の開始日。
- 終了日付 契約または保証の終了日。
- タイプ サービス契約が存在する場合の、契約タイプ。
- ステータス 現在の契約または保証ステータス。
- 前回の収集 契約および保証データが最後に収集された日付。

資産情報

このセクションには、[資産管理番号]（システムの資産管理番号）が含まれています。

管理プロセッサ

このセクションは、管理プロセッサが使用可能な場合にのみ表示されます。このセクションには、次の情報が含まれています。

- 名前 システムを管理するために使用される管理プロセッサの表示名（優先名）。
- アドレス システムを管理するために使用される管理プロセッサのIPアドレス。
- モデル このシステムの管理プロセッサのモデル名。

ホスト サーバ

このセクションには、次の情報が含まれています。

- 名前 ホスト サーバ システム ページへのリンクのあるホスト サーバ名
- スロット ホスト サーバのスロット番号
- モデル ホスト サーバの製品番号

パートナー デバイス

以下のセクションには、関連するストレージサーバを持つサーバについての以下の情報が含まれます。

- 名前 ストレージサーバ システム ページへのリンクのあるストレージ サーバ名
- スロット ストレージサーバのスロット番号、システム ページ
- モデル ストレージサーバの製品番号

関連情報

- エンクロージャ名 システムがエンクロージャ内にある場合、エンクロージャの名前。p-Classサーバ ブレードなどです。
- ラック名 エンクロージャが検出可能なラック内にある場合、ラック名。
- スロット エンクロージャ内でシステムの位置するスロット番号。
- サーバ寸法 システム寸法のmm単位表記（該当する場合）。

役割

このセクションは、Onboard Administratorが動作しているかどうかを表示します。

関連項目

- 概要
- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- イベント タブでの操作
- ツール&リンク タブでの操作

ツール&リンク タブでの操作

表示できるシステムリンクは、検出設定、エージェントやプロトコルの適切なインストール、およびシステムに問い合わせるポーリング タスクによって異なります。[ツール&リンク]ページには、以下のページが含まれます。

- システム マネジメント ページ項
- HPシステムWebアプリケーション ページ項
- HP Systems Insight Managerページ項

システム マネジメント ページ

このセクションには、システム上のHTTP Web管理によって提供されるリンクが含まれます。このリンクは、システム管理とステータス用です。システムにHP Insightマネジメントエージェントがない場合、このセクションは表示されません。利用可能なリンクには、以下のものが含まれます。

- HPバージョン コントロール エージェント
- HPバージョン コントロール レポジトリ マネージャ
- Insightマネジメント エージェント

HPシステムWebアプリケーション ページ

このセクションには、システムがホストするWebアプリケーションのリストが含まれます。利用可能なリンクには、以下のものが含まれます。

- VMware Management Interface
- デフォルトWebサーバ
- HP Systems Insight Manager

HP Systems Insight Managerページ

このセクションには、HP Systems Insight Managerによって生成されるリンクが含まれます。利用可能なリンクには、以下のものが含まれます。

- [データ収集レポート]リンクでは、個別のレポート結果ウィンドウにシステムのデータ収集レポートが表示されます。
- [システムプロトコル設定]リンクでは、[プロトコル設定]が表示され、この個別システムのためのプロトコルを設定できます。
- [システム プロパティの編集]リンクでは、完全な設定権のあるユーザがシステム ページによって、1つのシステムのシステムプロパティの一部を再設定できます。このリンクは、完全な設定権のあるユーザのみに表示されます。
- [監視の停止/回復]リンクにより、監視の停止時間を設定できます。これにより、HP Systems Insight Managerのステータス ポーリング、識別、データ収集、および自動イベント処理からシステムを除外できます。停止時間の長さは、事前設定により、5分、15分、1時間、および1日単位で設定できます。停止機能は、無期限に設定することもできます。完全な設定権があるユーザのみが、このリンクを使用できます。

- アクティブなOnboard Administratorの[Onboard Administratorの保存/リストア 設定]が表示されます。

iLOのリンク

このセクションには、iLOによって生成されるリンクが含まれます。使用可能なリンクには、以下が含まれます。

- [仮想メディア]リンクは、新しいウィンドウで[仮想メディア]を起動します。
- [リモート コンソール]リンクは、新しいウィンドウで[リモート コンソール]を起動します。
- [リモート シリアル]リンクは、新しいウィンドウで[リモート シリアル コンソール]を起動します。

注：iLOファームウェアは、1.30以降でなければなりません。iLOの再認識に引き続きアップグレードする必要があります。

- [Telnet接続]iLOリンクは、新しいウィンドウで[Telnet接続]iLOを起動します。

注：TelnetおよびiLOリンクは、Integrityブレードでは利用できません。

注：Telnetプロトコルハンドラは、Internet Explorer 7ではサポートされません。Telnet機能は、Internet Explorer 7を使用しているユーザは利用できません。

注:



これらのリンクは、HP SIMからシングル サイン オン（SSO）の設定をすることもできます。

iLO2でSSOを設定するには、以下の手順に従ってください。

- iLO2にログインします。
- [Administration]、[Security]、[HP SIM SSO]の順に選択します。
- ドロップ ダウン メニューからオプションを選択して、シングル サイン オン信頼モードを有効にします。
- [ADD HP SIM Server]をクリックし、手順3で選択したオプションによって、以下の手順の1つを行ってください。
 - 信頼済みHP SIMサーバ名を追加します。
 - 信頼済みHP SIMサーバから認証情報を収集およびインポートします。
 - HP SIMサーバ認証情報を直接インポートします。
- [Apply]をクリックします。

関連項目

- 概要
- システム ページ
- システム タブでの操作
- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- イベント タブでの操作

イベント タブでの操作

c-Classラックまたはエンクロージャの[イベント]タブには、エンクロージャまたはラック内の現在のすべてのデバイス イベントをテーブル ビューで表示します。

イベント テーブル ビュー ページは、以下のセクションに分かれています。

1. フィルタ条件
2. イベント ステータスの凡例
3. イベント収集の列
4. イベントの詳細
5. イベント管理のボタン

システム

イベント

表示

すべてのイベント

イベントの詳細を表示するには、[イベント タイプ]の項が表示されているのを確認したのち、目的のリンクをクリックしてください。

サマリ: 0 クリティカル 0 メジャー 0 マイナー 0 警告 0 正常 1 情報 合計: 1

<input type="checkbox"/>	ステータス	深刻度	イベント タイプ	システム名	イベント時刻 ↓	担当者
<input type="checkbox"/>	未確認		System is unreachable	System is unreachable	2/20/07 1:45 AM	
<input type="checkbox"/>	未確認		Discovered System	Discovered System	2/20/07 1:44 AM	
<input type="checkbox"/>	未確認		Discovered System	Encl_09USE6442859	2/19/07 10:24 PM	
<input type="checkbox"/>	未確認		Discovered System	Encl_09USE644285C	2/19/07 10:24 PM	
<input type="checkbox"/>	未確認		Discovered System	C7000_Enclaaa	2/19/07 10:23 PM	
<input type="checkbox"/>	未確認		Discovered System	Encl_03EA0WJTK544	2/19/07 10:22 PM	

このページから、イベントの確認、削除、および割り当てに加えて、イベントに関するコメントを入力したり、印刷可能なレポートを表示したりすることができます。

フィルタ条件

イベント リストは、ブレード、スイッチ、またはOnboard Administratorイベントなどの個々のシステムを別々に表示するために、[フィルタ条件]ドロップダウン リストを使用してフィルタリングしたり、すべてのイベントを表示することができます。

イベント リストをフィルタリングするには、以下の手順に従ってください。

1. [フィルタ条件]ドロップダウン リストから、条件を選択します。
 - すべてのOnboard Administratorイベント すべてのOnboard Administratorから報告されたイベントは、選択したラックまたはエンクロージャに含まれます。このオプションは、c-Classラックまたはエンクロージャのみ利用可能です。

- すべてのブレード イベント すべてのブレードから報告されたイベントは、選択したラックまたはエンクロージャに含まれます。このオプションは、**p-Class**および**c-Class**ラックまたはエンクロージャと同様に**e-Class**エンクロージャでも利用可能です。
- すべてのスイッチ イベント すべてのスイッチから報告されたイベントは、選択したラックまたはエンクロージャに含まれます。このオプションは、**p-Class**および**c-Class**ラックまたはエンクロージャで利用可能です。
- すべてのイベント タイプ 選択したラックまたはエンクロージャ内のすべてのデバイスから公開されたイベントです。このオプションは、**p-Class**および**c-Class**ラックまたはエンクロージャで利用可能です。

2. フィルタリングされたイベント リストが表示されます。

イベント ステータスの凡例

凡例には、ステータスがクリティカル、メジャー、マイナー、正常、無効、および不明になっている、ビュー内のシステム数が表示されます。

イベントの詳細

以下の部分をクリックすると、イベント収集が表示されます。

- [システムおよびイベント収集]パネルのイベント収集
- [システム ステータス]パネルのイベント ステータス アイコン
- [システム ページ]の[このシステムに関連付けられたすべてのイベント]リンク
- プライベート イベント収集
- [システム概要]ページの[未確認イベント]セクションのハイパーリンク

イベント収集は、権限に基づいてフィルタリングされます。ユーザは、適切な権限を持つシステムのイベントだけを表示することができます。

HP Storage Essentialsがインストールされている場合は、このセクションのリンクから、HP Storage Essentialsの対応するイベント詳細を表示することができます。

イベント収集の列

特定の列によって収集を並び替えることができます。列を並び替えるには、列見出しをクリックして昇順か降順に並び替えます。列名の上にカーソルを重ねると、列の簡潔な説明が表示されます。

以下の列が表示されます。

- 選択
- 状態
- 深刻度
- イベント タイプ
- システム名
- イベント時間

- 担当者
- コメント
- システム タイプ
- ラック名
- エンクロージャ名

選択

イベントを選択するには、この列のチェックボックスをオンにします。複数のイベントを選択できます。表示されるすべてのイベントの選択または選択解除を行うには、列見出しのチェックボックスを選択します。

状態

この列には、イベントが確認済み状態になっているかどうかが表示されます。イベントは、未確認状態から始まります。確認済み状態とは、ユーザがこのイベントに関心がなくなったことを表します。イベント状態には[進行中]も含まれます。[進行中]は、まだログに記録されていないイベントデータがあることを示します。[進行中]状態のイベントは、削除することもクリアすることもできません。HP SIM CMSを再起動すると、状態の確定していないすべてのイベントが「未確認」になります。

深刻度

この列にはイベント ステータス アイコンが表示され、イベントによって表現される問題の深刻度が表示されます。

イベント タイプ

この列には、イベントのタイプが表示されます。SNMPトラップやログイン障害のほか、エージェント設定のレプリケートといったイベントタイプも示されます。[イベントの詳細]セクションを表示するには、リストからイベントタイプを選択します。表示される情報は、イベントによって異なります。列でイベントタイプの一部が隠れて見えない場合は、カーソルをこのフィールドの上に移動させると、イベント タイプ名全体を示すポップアップ ウィンドウが表示されます。

システム名

この列は、イベントが発生したシステムの名前を表示します。この列のリンクをクリックすると、選択されているシステムの[システム ページ]が表示されます。

ラックまたはエンクロージャ全体に影響するイベントが発生すると、そのラックまたはエンクロージャ内の複数のシステムがそのイベントに関するトラップを生成することがあります。このコンテナトラップはフィルタリングされ、ラックまたはエンクロージャトラップごとに1つのイベントだけがログ記録されます。また、トラップの送信元がブレードサーバまたは管理プロセッサであっても、HP Systems Insight Managerは、必要に応じて、ログ記録されたイベントのイベント送信元および関連システムをラックまたはエンクロージャに設定します。

イベント時間

この列は、HP SIM CMSがこのイベントを受信した日時を示すタイム スタンプを表示します。システムがイベント時間（CMS時間）と異なるタイムゾーンにある場合、イベント時間は、システムのタイム ゾーンに変換されます。

担当者

イベントの責任をユーザに割り当てるには、イベントを選択し、ページの下部にある[担当者]をクリックします。[担当者]セクションが表示されます。このセクションで、新しい担当者を選択して割り当てるか、既存の担当者を使用します。既存の担当者を使用する場合は、1つのユーザ名のみをリストから選択できます。ユーザ名には、システムで権限を持ったユーザやCMSにログイン可能なユーザの名前を指定する必要はありません。このフィールドは書式なしのテキスト フィールドです。

コメント

この列は、このイベントに関する既存のコメントを表示します。コメントが入力されていない場合は、空白になります。列の幅より長いコメントは、切り取られます。必要な場合はイベントタイプをクリックし、コメント全体を表示します。コメント フィールドの上にカーソルを重ねると、ポップアップ ウィンドウにコメント全体が表示されます。

システム タイプ

この列は、エンクロージャやラックなどのシステム タイプを表示します。

ラック名

この列は、ラックの名前を表示します。

注:



この列は、システムがラックまたはエンクロージャの場合に表示されます。

エンクロージャ名

この列は、エンクロージャの名前を表示します。

注:



この列は、システムがラックまたはエンクロージャの場合に表示されます。

イベント管理のボタン

イベントテーブルビューページの下部にある5つのボタンは、完全な設定権があるユーザだけが使用できます。このページをどこからアクセスしたかによっては、これらのボタンが表示されない場合もあります。たとえば、タスクを作成してターゲットを選択した場合、表かシステム名のみが表示され、ボタンは表示されません。

- [確認済み]。このボタンは、1つまたは複数のイベントをデータベースで確認済み状態にするために使用します。クリアするイベントを選択し、[確認済み]をクリックします。
- [削除]。このボタンは、1つ以上のイベントをデータベースから削除する場合に使用します。削除するイベントを選択し、[削除]をクリックします。ダイアログ ボックスが表示されます。削除を続けるには、[OK]をクリックします。削除をキャンセルするには、[キャンセル]をクリックします。
- [担当者]。このボタンは、イベントの権限を特定のユーザに割り当てる場合に使用します。
- [コメントの入力]。1つまたは複数のイベントに関するコメントを入力するためのダイアログ ボックスが表示されます。
- [印刷]。レポートが表示されたら、ブラウザのメニューから[ファイル]->[印刷]をクリックし、レポートを印刷します。

適切な権限がない場合は、ボタンが無効になります。ただし、[印刷]ボタンはどのユーザに対しても表示されます。

関連手順

- システム タブでの操作
- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- ツール&リンク タブでの操作

関連項目

- 概要
- システム ページ

[パフォーマンス/利用率]タブでの操作

パフォーマンス/利用率タブは、選択したブレードの性能を表示します。

注:



[パフォーマンス/利用率]タブには、データなしのベア メタル ブレードが表示されます。

パフォーマンス/利用率タブには、次の情報が含まれています。

- アップデート：（タイムスタンプ）。自動で更新されて、最後に更新されたタイム スタンプが表示されます。

注：これは、クライアントの時刻ではなく、中央管理サーバの時刻が反映されます。

- プロセッサ
 - インデックス。プロセッサ インデックス番号を表示します。
 - タイプ。プロセッサのタイプを表示します。
 - 使用率。プロセッサの使用率を表示します。

- 論理ディスク

- 名前。論理ディスクの名前を表示します。
- サイズ (MB)。論理ディスクのサイズをメガバイト単位で表示します。
- 使用率 (%)。使用量をパーセントで表示します。

- 物理メモリ

- サイズ (MB)。物理メモリのサイズをメガバイト単位で表示します。
- 空き (MB)。空き物理メモリのサイズをメガバイト単位で表示します。
- ページング サイズ (MB)。ページの容量をメガバイトで表示します。
- 非ページング (MB)。空きページ サイズをメガバイト単位で表示します。

- サーバファン

注：[サーバファン]セクションは、すべてのp-Classおよびe-Classブレードで表示されます。

- インデックス。インデックス番号を表示します。
- 位置。位置を表示します。
- リダンダント パートナー。リダンダント パートナーの番号を表示します。
- 速度。サーバファンの状態を表示します。
- 状態。サーバファンの状態を表示します。
- ホットプラグ。ホットプラグの種類を表示します。

- 温度

- インデックス。インデックス番号を表示します。
- 位置。位置を表示します。
- 摂氏 (°C)。温度を摂氏で表示します。
- スレッシュホールド (C)。スレッシュホールド値を表示します。
- 状態。LEDの状態を表示します。
- スレッシュホールド タイプ。スレッシュホールド タイプの状態を表示します。

- Performance Management

注：デバイスがHP ProLiant Essentials Performance Management Packでライセンスされている場合、このセクションはPMPリンクに表示されます。そうでない場合は、このセクションはHP ProLiant Essentials Performance Management Packホームページへのリンクの[PMPについて]に表示されます。

- PMPについて...。HP ProLiant Essentials Performance Management Packホームページへのリンクを表示します。

関連項目

- 概要
- システム ページ

ポート マッピング/メザニン カード タブでの操作

[ポートマッピング]タブは、c-Classブレードおよびスイッチのみ表示されます。

[ポートマッピング]タブには、次の情報が含まれています。

- アップデート：（タイムスタンプ）リンク。

注：これは、クライアントの時刻ではなく、中央管理サーバの時刻が反映されます。

- ブレードの場合：

- メザニン スロット。メザニン スロット番号を表示します。
- メザニン デバイス。メザニン デバイス名または[カードなし]を表示します。
- メザニン デバイス ポート。メザニン デバイス ポート名または番号を表示します。
- ポート ステータス。ポートの状態を表示します。
- インターコネクト ベイ。ベイ番号を表示します。
- インターコネクト ベイ ポート。ベイ ポート番号を表示します。
- デバイスID。デバイスID番号を表示します。
- O.S.インタフェース名。オペレーティング システムのネットワーク インタフェースの名前を表示します。

- スイッチの場合：

- インターコネクト ベイ ポート。ベイ ポート番号を表示します。
- ポート ステータス。ポートの状態を表示します。
- サーバベイ。サーバベイを表示します。
- メザニン ポート。メザニン ポート番号を表示します。


- このシステムのスイッチポートマッピングについて詳しくは、ここをクリックしてOnboard Administratorにアクセスしてください。[Onboard Administrator]をクリックして、Onboard Administratorホーム ページを表示します。

関連項目

- 概要
- システム ページ

Essentialsタブでの操作

[Essentials]タブは、他のHP Systems Insight Manager（HP SIM）、パートナー アプリケーションをサポートするシステムの[システム ページ]上にあります。このタブには、使用可能なソフトウェアの説明と、詳細が記述されたHPのWebサイトへのリンクがあります。完全な設定権のあるユーザと設定権が制限されているユーザのみに[Essentials]タブが表示されます。

[Essentials]タブに新しい情報があるときは、タブが強調表示されて情報アイコンが表示されます。[Essentials]タブを表示させたら、新しい情報が発生するまでアイコンは表示されなくなります。

関連項目

- 概要
- [パフォーマンス/利用率]タブでの操作
- イベント タブでの操作
- ツール&リンク タブでの操作

Onboard Administratorリンク

注:



Onboard AdministratorへのSSOリンクは、証明書の期限が切れている場合にのみ動作します。Onboard Administrator画面のツリーの最後にあるHP SIMインテグレーションにアクセスして、SSO証明書の詳細の[有効開始日]および[有効期限]フィールドを確認すると証明書の期限を確認することができます。これは、HP SIMの中央管理サーバの時刻と同期しています。

注:



Onboard Administratorリンクは、英語版のInternet Explorer 6.0およびFireFox 1.5でのみサポートされます。

Onboard Administratorリンクを正しく動作させるには、次の手順に従ってOnboard Administratorを設定してください。

1. Onboard AdministratorへのTelnetセッションを起動します。

Telnet <OA-IP>

2. ユーザ名およびパスワードでCLIにログインします。
3. SSOの信頼を[on]に設定します。
4. SSOをダウンロードします。

<CMS-Server-IpAddress>

- SSO証明書が制限を超えて場合は、Onboard Administrator Webインタフェースから不要なSSO証明書を削除してください。
 - i. Webインタフェースにログインします。
 - ii. 左のウィンドウのツリーの最後にあるHPSIMインテグレーションをクリックします。
 - iii. 不要なSSO証明書を削除します。

Onboard Administratorは、OAがアクティブかスタンバイかを表示する、[OA role]と呼ばれるシステム ページにグループを提供します。詳しくは、Onboard Administratorシステム ページを参照してください。

関連項目

- システム タブでの操作

用語集

HP Systems Insight Manager
(HP SIM)

HPのシステム、クラスタ、デスクトップ、ワークステーション、ポータブルなど、さまざまなシステムを管理できるシステム マネジメント ソフトウェアです。

HP SIM は、Insight マネージャ7、HP Tootools、HP Servicecontrol マネージャの長所を組み合わせることにより、Windows、Linux、HP-UXを実行しているHP ProLiantシステム、Integrityシステム、HP 9000システムを管理する、統一されたツールを提供する。HP SIMソフトウェアの中核部分では、すべてのHP製サーバプラットフォームの管理に不可欠な機能が提供されます。HP製ストレージ、電源、クライアント、およびプリンタ製品のプラグインを使用してHP SIMを拡張することもでき、広範なシステム管理に使用できます。Rapid Deployment Pack、Performance Management Pack、Workload Management Packのプラグインは、ハードウェア資産の完全なライフサイクルの管理機能を追加したソフトウェアをシステム管理者が選択することができます。

HP Systems Insight Manager
データベース(データベース)

ユーザ、システム、ツールボックスなど、HP Systems Insight Managerに関する、有効な情報を保存するデータベース。

Onboard Administrator

Onboard Administratorは、すべてのc-Classラックをコントロールするための中核となります。ラック全体のコンフィギュレーション、電源、および管理制御を提供し、関連するブレード (Compute Servers)、ブレード管理プロセッサ、(iLO)、ネットワーク スイッチ (使用しているスイッチのモデルによって異なります)、およびストレージコンポーネント (SANまたはSATAなど) を提供します。Onboard Administratorは、フェールオーバー用にオプションのバックアップ ツイン プロセッサとリソースを共有した、シングル マネジメント プロセッサです。

Webベース エンタープライズ
管理 (WBEM)

WBEM システム、ネットワーク、ユーザ、およびアプリケーションを、複数のベンダ環境にまたがって管理するための業界イニシアチブ。WBEMは、システム管理を簡素化し、WBEM 準拠アプリケーションで読み出すことのできるソフトウェア データとハードウェアデータへのアクセス性能を向上させる。

イベント

管理環境に何か変更があった場合に、特定ユーザに通知する情報。イベントはSNMPトラップから生成され、このリリースでは事前に設定されています。重要なイベントが発生すると、HP Systems Insight Managerはトラップを受信します。各イベントは、次のように定義されます。

- 情報。 このタイプのイベントに注意する必要はなく、これらは、便利な情報として提供されます。
- 正常。 このイベントは問題ではありません。
- マイナー。 このタイプのイベントは、さらに深刻な問題に発展する可能性のある警告ステータスを示します。
- メジャー。 このタイプのイベントは、差し迫った障害を表します。

	<ul style="list-style-type: none"> クリティカル。 このタイプのイベントは、障害が発生しており、すぐに対処する必要があることを示します。
インターネット プロトコル (IP)	ネットワーク上で送受信されるデータグラム (パケット) のフォーマットとアドレス指定スキーマを指定します。ほとんどのネットワークは、送信先と送信元の仮想接続を確立するTCP (Transmission Control Protocol) と、このIPを組み合わせています。
エンクロージャ	1組のブレード サーバを収納する物理的なコンテナ。エンクロージャは、電源と信号を供給するバックプレーンと配線や温度センサ用のその他のハードウェアから構成されます。CPUの電源やサーバの電源もホストします。
Simple Network Management Protocol (SNMP)	HP Systems Insight Managerによってサポートされる管理プロトコルのうちの1つ。従来から、ネットワーク システムおよびサーバによって広く使用されている管理プロトコルです。MIB-2は、すべてのベンダに一貫して提供されている標準情報です。
完全な設定権があるユーザ	CMSを含むすべてのシステムで[すべてのツール]ツールボックスの権限が自動的に与えられるユーザ。このタイプのユーザには、HP Systems Insight Managerソフトウェアを管理する、特別な権限が与えられます。
クリティカル ステータス	HP Systems Insight Managerが管理対象システムとやり取りできないときに生成される状態。
検出	ネットワーク オブジェクトを検索および識別する管理アプリケーションの機能。HPの管理アプリケーションでは、検出により、指定したネットワーク範囲にあるすべてのHP製システムが検索および識別されます。
コンテナ	ラックまたはエンクロージャは、コンテナと見なされます。 参照 エンクロージャ, ラック
サーバブレード	一般的に、電源、ファン、スイッチ、およびその他のコンポーネントを他のブレードサーバと共有するために、ラック マウント可能なエンクロージャに簡単に挿入できる、マイクロプロセッサ、メモリ、およびネットワーク接続を含む高密度なサーバシステムです。サーバブレードは、コスト効率が高さ、デプロイの高速性、および拡張に対する適応度において優れており、これまでのラック マウントやタワー型のサーバとは異なります。 参照 エンクロージャ, ラック
識別	管理プロトコルとシステムのタイプを識別する検出プロセスの状況。
システム	TCP/IPまたはIPXを介して通信するネットワーク上のノード。システムを管理するには、あるタイプの管理プロトコル (SNMP、DMI、WBEMなど) がシステムに存在する必要があります。システムの例としては、サーバ、ワークステーション、デスクトップ、ハンドヘルド、ルータ、スイッチ、ハブ、およびゲートウェイがあります。

システムヘルスステータス	<p>ターゲットシステムでサポートされるすべてのステータスソース（SNMP、WBEM、DMI、HTTPなど）の統計ステータスで、最も深刻なステータスと一緒に表示されます。表示される各種システムヘルスステータスは、以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none">● クリティカル HPSIMがシステムとやり取りできなくなっています。このシステムは以前検出されていたが、現在はpingできない。システムが停止しているか、電源が切れているか、ネットワークの問題のためにネットワーク経由でアクセスできなくなっています。● メジャー このシステムに、重大な問題が発生している。このステータスにはすぐに対処する必要がある。HP Insight マネジメントエージェントを実行しているシステムの場合は、一部のコンポーネントで障害が発生している。システムが正常に動作しておらず、データが消失している可能性があります。● マイナー このシステムに、軽度の問題があります。HP Insight マネジメントエージェントを実行しているシステムの場合、一部のコンポーネントが故障していますが、システムはまだ機能しています。● 警告 システムに潜在的な問題が存在するか、問題が発生する可能性のある状態になっている。● 正常 システムは正常に機能しています。● 無効 監視機能から見るとシステムは無効になっているが、必ずしも電源が切られているわけではない。● 不明 HPSIMが、システムに関する管理情報を取得できない。● 情報 システムの状態が変化しているところか、またはエラーではない状態が発生している。
収集	システムやイベント検索をグループ化する方法。
中央管理サーバ (CMS)	HPSIMソフトウェアを実行する、管理ドメイン内のシステム。HP SIM内のすべての集中操作は、このシステムから開始されます。
デスクトップ管理インタフェース (DMI)	DMTFによって確立された、主にクライアント管理で使用される業界標準プロトコル。DMIは、クライアントシステムについての問題レポートを効率的な方法で提供します。DMI準拠のコンピュータは、ネットワーク上の中央管理システムにステータス情報を送信できます。
ドメインネームサービス (DNS)	ドメイン名をIPアドレスに変換するサービス。
バージョンコントロールエージェント (VCA)	サーバにインストールし、サーバにインストールされているHP製ソフトウェアを確認するためのエージェント。エージェントをポイントするようにVCAを設定すると、バージョンを簡単に比較したり、レポジトリからソフトウェアを更新したりできるようになります。
ハードウェアステータス	SNMPベースのシステムの操作ステータス。ハードウェアステータスは、システムからのポーリングSNMP情報によって判断されます。ステータスは、次のように定義されます。

	<ul style="list-style-type: none"> ● クリティカル。 HP Systems Insight Managerがシステムとやり取りできなくなっています。このシステムは以前検出されていましたが、現在はpingできません。システムが停止しているか、電源が切れているか、ネットワークの問題のためにネットワーク経由でアクセスできなくなっています。 ● メジャー。 問題が発生しています。 ● マイナー。 機能していますが、エラーが発生しています。 ● 正常。 システムは正常に機能しています。 ● 不明。 HP Systems Insight Managerが、システムに関する管理情報を取得できません。 ● 無効
不明ステータス	HP Systems Insight Managerが、SNMPまたはDMIを使用して、システムに関する管理情報を取得できません。管理構成情報は取得できませんが、システムに対してpingを実行できます。コミュニティ名またはセキュリティの設定が間違っている可能性があります。
ブレード サーバ	ラックまたはエンクロージャに搭載されているサーバ。 参照 エンクロージャ, ラック
ヘルス ステータス	すべてのステータス ソース (SNMP、WBEM、DMI、HTTPなど) の統計ステータスで、最も深刻なステータスが表示されます。 参照 システム ヘルス ステータス
マイナー ステータス	システムから収集された統計ステータス情報であり、監視対象サブシステムの1つ以上が正しく動作せず、システムに影響を与えていることを示します。これ以上のエラーが発生することを回避するために、できるだけ早く対処する必要があります。
未確認イベント ステータス	深刻度が、クリティカル、メジャー、マイナー、正常、情報になっているイベント。 <ul style="list-style-type: none"> ● クリティカル。 障害が発生し、すぐに対応する必要があります。 ● メジャー。 近いうちに障害が発生します。 ● マイナー。 さらに深刻な問題に発展する可能性のある警告ステータスです。 ● 正常。 このイベントは問題ではありません。 ● 情報。 注意する必要はありません。これは便利な情報として提供されます。
メジャー ステータス	システムから収集された統計ステータス情報であり、監視対象サブシステムの1つ以上が正しく動作せず、システムに影響を与えていることを示します。このステータスにはすぐに対処する必要があります。
ユーザ	HP Systems Insight Managerに追加されているCMSで有効なログインがあるネットワーク ユーザ。

ラック

相互に通信するために配線されたコンポーネントのセット。
ラックはエンクロージャのためのコンテナです。

索引

C

c-Classエンクロージャ, 37
CCIブレードPC, 36

E

e-Classエンクロージャ, 36
e-Classサーバブレード, 36
essentialsタブ, 63

H

HP Systems Insight Manager内のHP BladeSystem
Integrated Manager
 アクセス, 6

I

Integrated Administrator, 36

O

Onboard Administrator
 シングルサインオン, 64

P

p-Classエンクロージャ, 35

V

Virtual Connect Manager, 39

あ

アイコンビュー, 6, 11
アクセス
 HP BladeSystem Integrated Manager, 6

い

イベントタブ, 43, 57
イベントテーブルビューページ, 49
インターコネクトスイッチ, 36

え

エンクロージャ, 18, 24, 43, 57, 61–62
エンクロージャの概要, 24
エンクロージャビュー, 18, 26

け

検索基準, 24

こ

ご注意, 4

さ

サーバ

 essentialsタブ, 63
 識別タブ, 49
 システムタブ, 39

し

識別タブ, 49
システムタブ, 39
システムテーブルビューページ, 18, 24, 49
システムページ, 18, 49, 63
 イベント, 49
 システム, 49
 ツール&リンク], 55
 リンク, 49
商標, 4
新機能, 6
シングルサインオン
 Onboard Administrator, 64

そ

操作, 61–62
 イベントテーブルビューページ, 43, 57

ち

著作権, 4

つ

追加
 ラック, 31
ツリービュー, 6–7

て

テーブルビュー, 6, 12

は

パフォーマンス/利用率タブ, 61

ひ

ピクチャビュー, 18
ピクチャビューページ, 18, 24

ふ

ブレード, 18, 24, 43, 57, 61–62
 ラックの作成, 31
 ラックの編集, 33
 ラックビュー, 25

へ

編集
 ラック, 33

ほ

ポート マッピング タブ, 62

保証, 4

ら

ラック, 18, 43, 57, 61–62

作成, 31

ラックの編集, 33

編集, 33

ラックの追加, 31

ラックの概要, 24

ラック ビュー, 18, 25, 39

り

リリース履歴, 4